

調教の間



長田 要

Contents

003 深窓の隷嬢

027 性ラー服

049 縛られ縄手

071 過去の触罪

093 誰がために鈴は鳴る

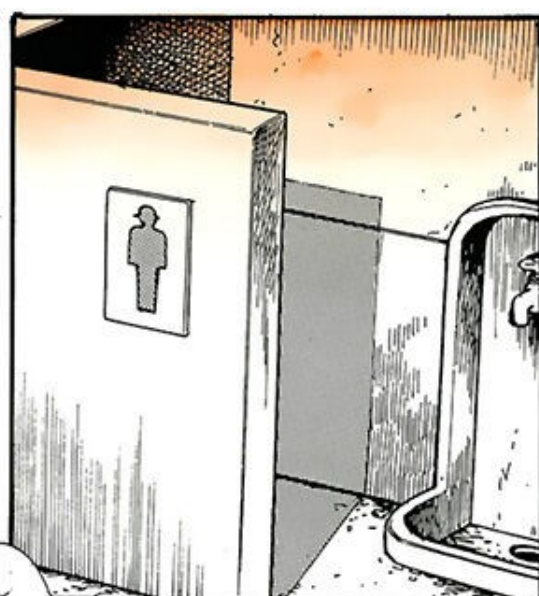
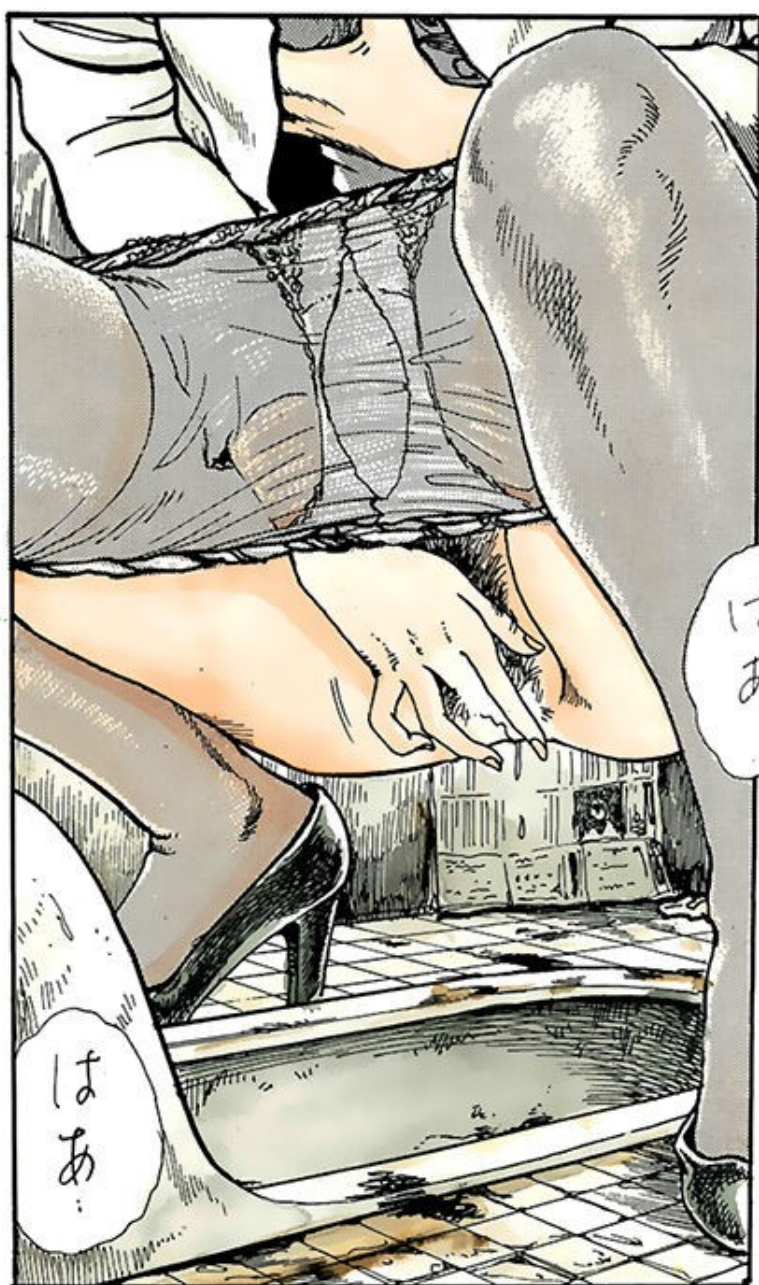
117 姦じるカラダ



深窓の隸嬢

●しんそうのれいじょう●





あたしは花嫁修業中の
二十三歳……

はあ……

千ヨボ
千ヨボ

資産家の旧家に生まれ
子供のころから数人の使用人に
お嬢さまと呼ばれて育った
あたしは……

同世代の男性に
接触することもなく中学から
エスカレーター式に大学へ……

あ……
痛っ

多感な時期に異性と
接触しなかったせい
か、性に対して好奇心ばかりが
ついつい……

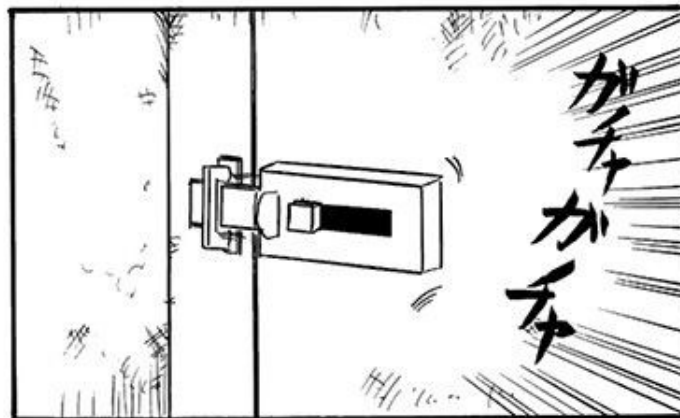
舐めて……
か……

そんなときに大学で
一冊のアダルト小説を
拾ったのです……



それは大会社の社長令嬢が誘拐され
さんざんはずかしめを受ける
といった内容でしたが……

その中でも公衆トイレで
レイプされるという場面が
あたしにはとても衝撃的で……

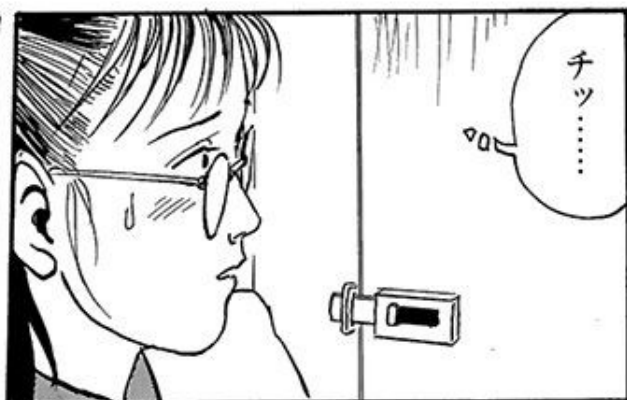


なん度も読みかえすうちいつの間にか
読みながらオナニーすることを覚え
……

あつ
ま……また
……

大学を卒業した今でも
月になん度かはこうして
男性用の公衆トイレで
……

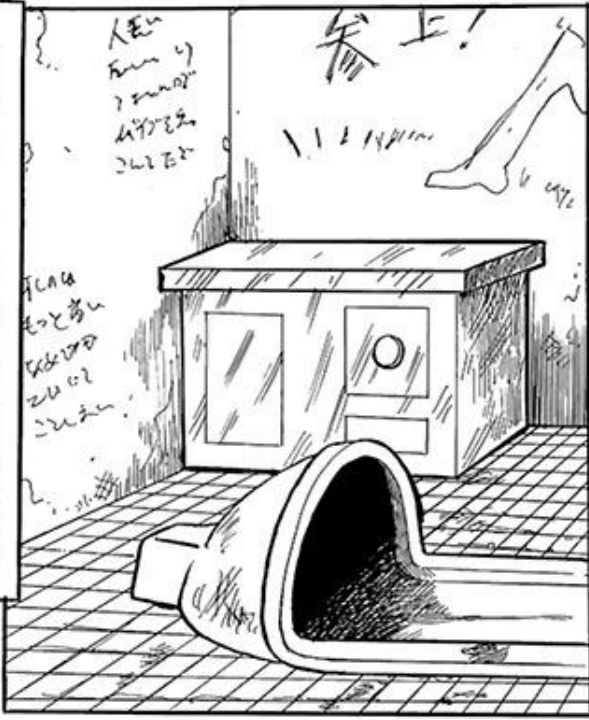




紙袋を忘れたことに気づいたのは
公園近くの駅に着いたときでした
……



買い物をし うっかりカード類や
定期券の入った財布を
紙袋に入れていたので……



あわててトイレへ戻ったのですが
すでに紙袋はなくて……

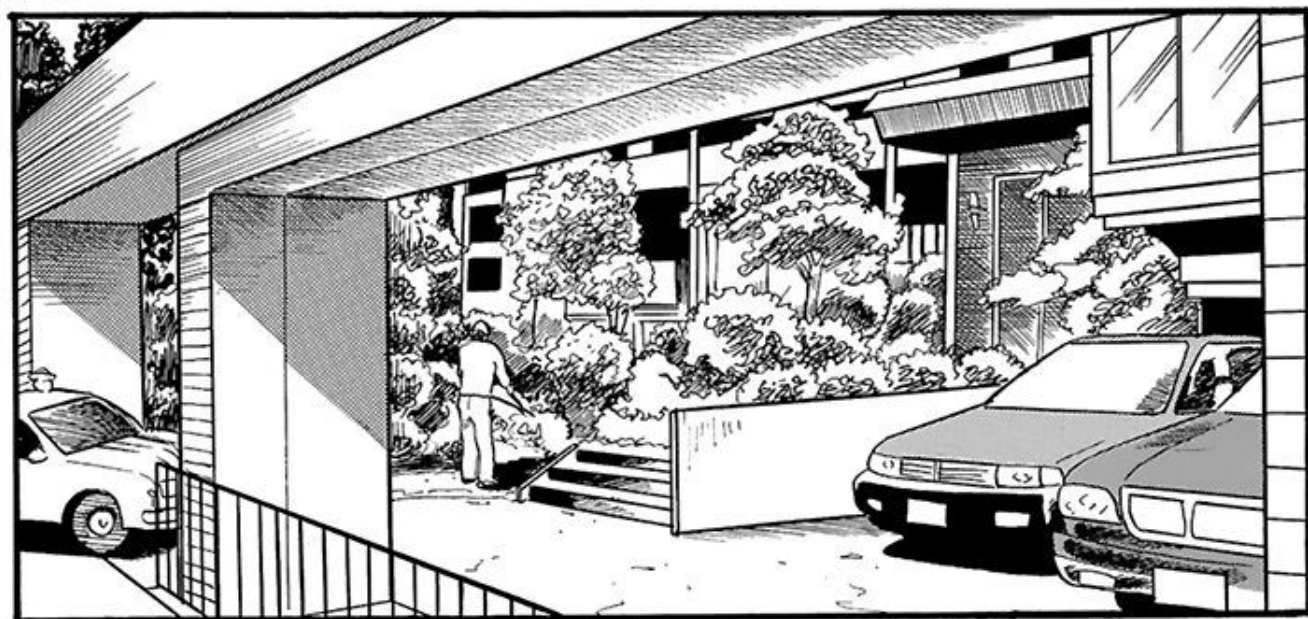
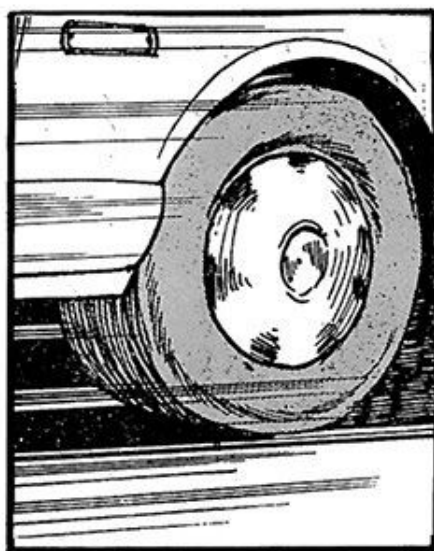


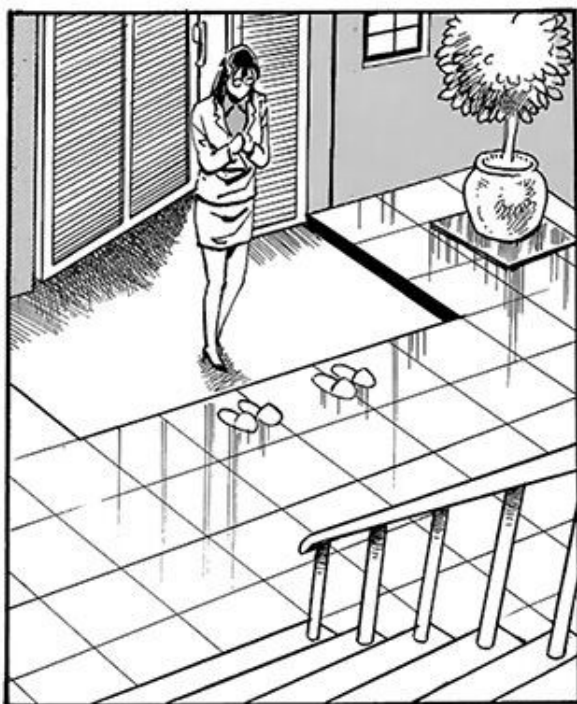
財布をなくしたただけなら
うろたえることも
なかったのですが……



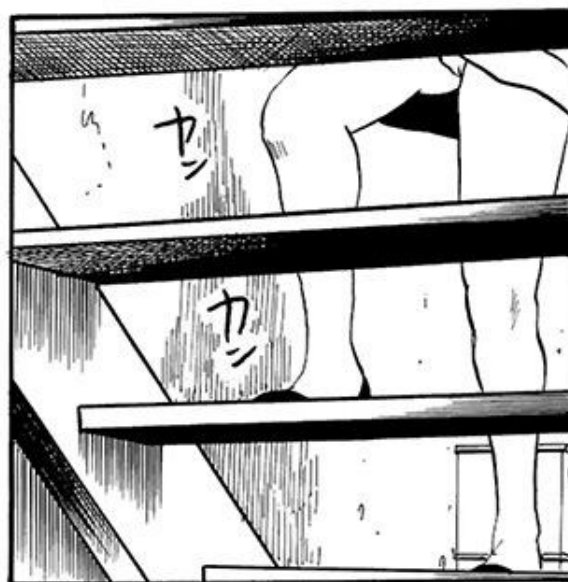
買った品と
一緒というのが
問題でした……







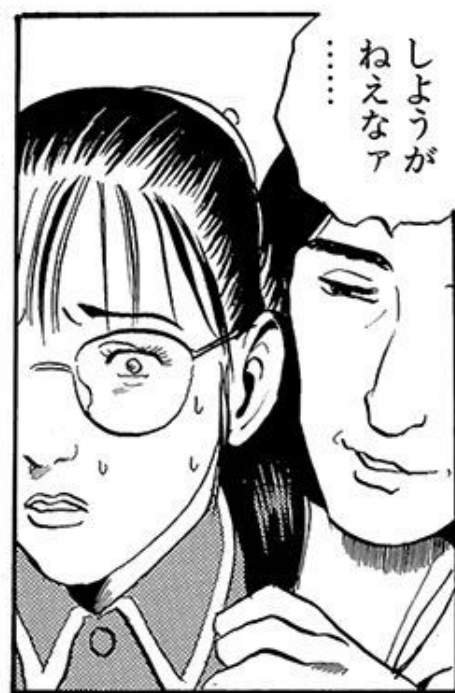
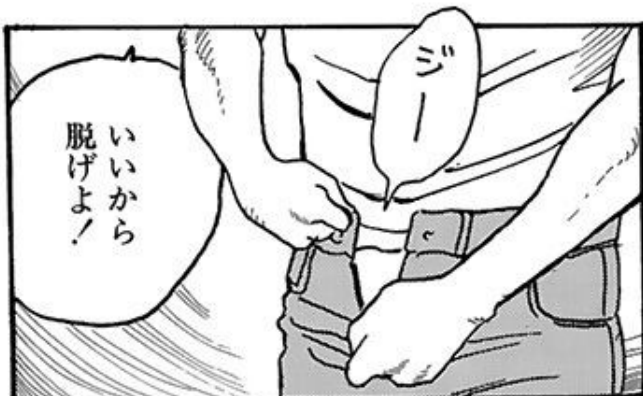


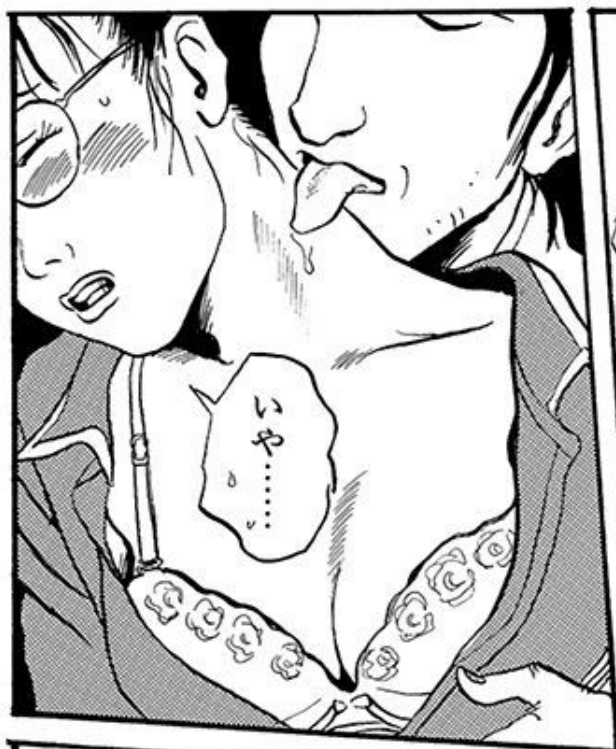


ガ
チヤ
...









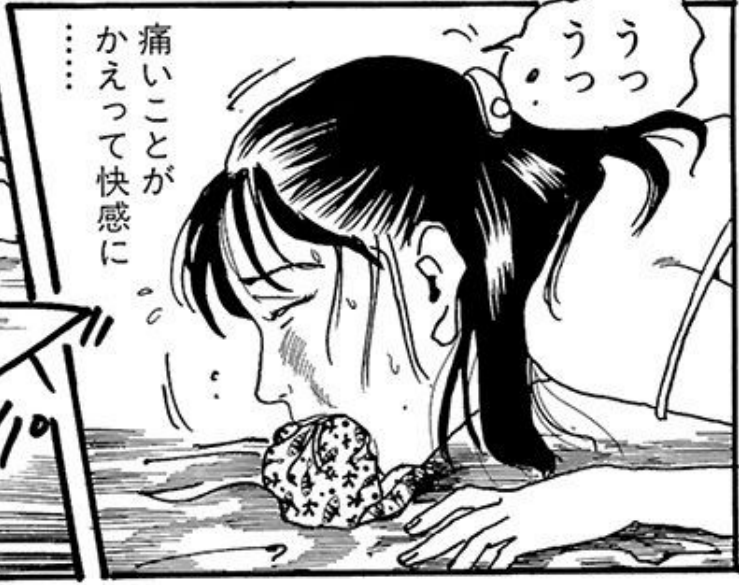




ドス ドス



悪いが
先にいかせて
もらうぜ!



痛いことが
かえって快感に
……



ドス
ドス



あうっ!!



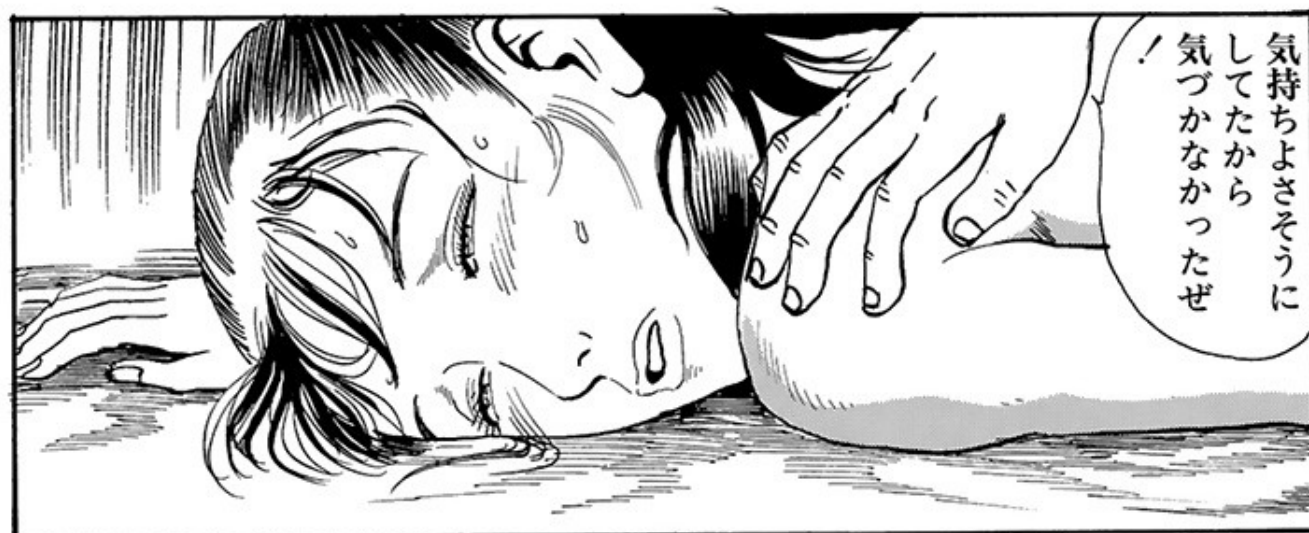
ドス
ドス
ドス



ドス
ドス



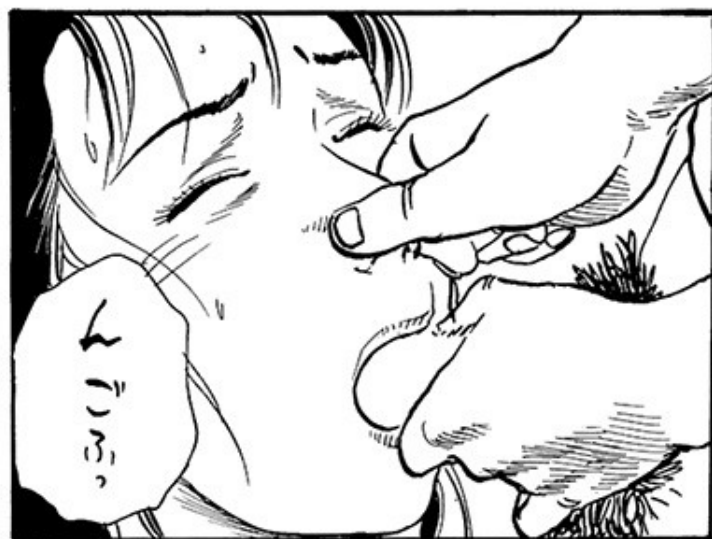
ドス
ドス





うまいもんだろ!?

以前コマした中年女が
こういうのが好きでな
……



んっ
んっ
んっ



名前も
知らない
女だが
今でもときどき
縛られに来ては
小遣いをくれる
!



あんたも
欲求不満になったら
ここへ来いよ
いつでも相手になるぜ
!

それから男の
なすがまま……

なん時間も
自由のきかない体を
オモチャのように
扱われて……

あたりが暗くなる
ころには……

あ……
ああっ!!

ああっ!!
ああ——
っ!!

い……いやア
落ちる
落ちる……





そうとわかったら
話しは早い
母娘二人まとめて
めんどろ
みちゃうよ!

母娘で一人の
男に抱かれる
なんて……



ハッハッ あんたの
娘だったとはね!

どうりで
感度がいい
はずだ!



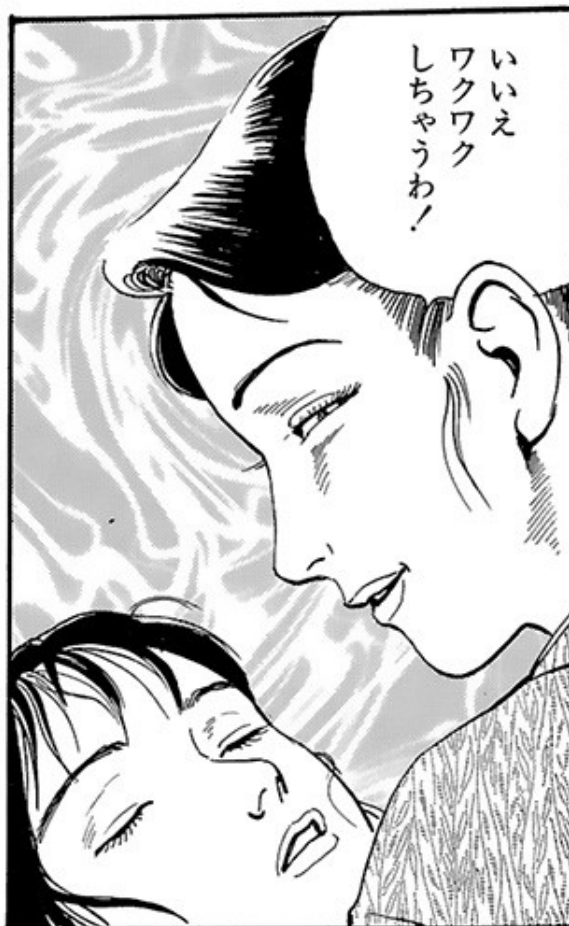
翌日から
あたしたち母娘は
そろって男の部屋に
通うようになりました
……
それにしても
母のセックスに対する
貪欲さには驚かされます
まだ二十代のあたしも
四十代半ばの母に
かないません

もっと
もっと突いて!

そんなア
お母さまばっかり
ずるい!



娘によがり姿を
見られるのは
いやかい!?



いいえ
ワクワク
しちゃうわ!



そのせいか
最近彼が
やつれぎみなのが
気になります
……

END

性ラ一服

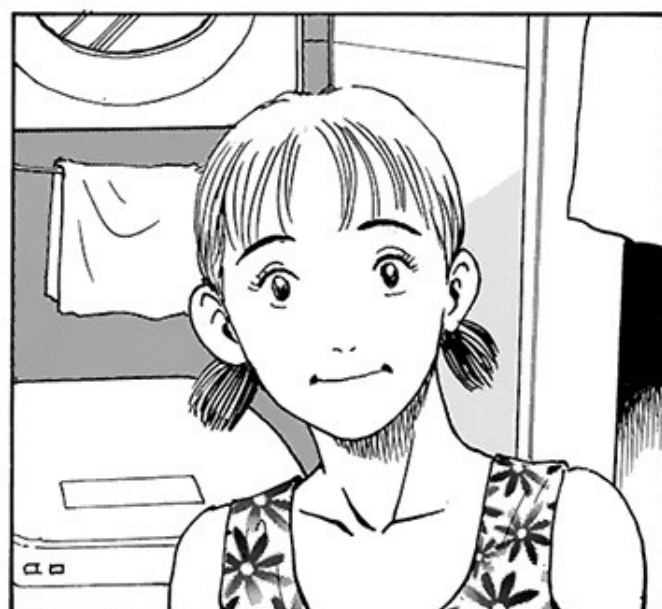
●せいらーふく●



彼女と初めて会ったのは
結婚して二年目の
春も間近のことだった









家の中を
セーラー服が
ヒラヒラ
動きまわる
……

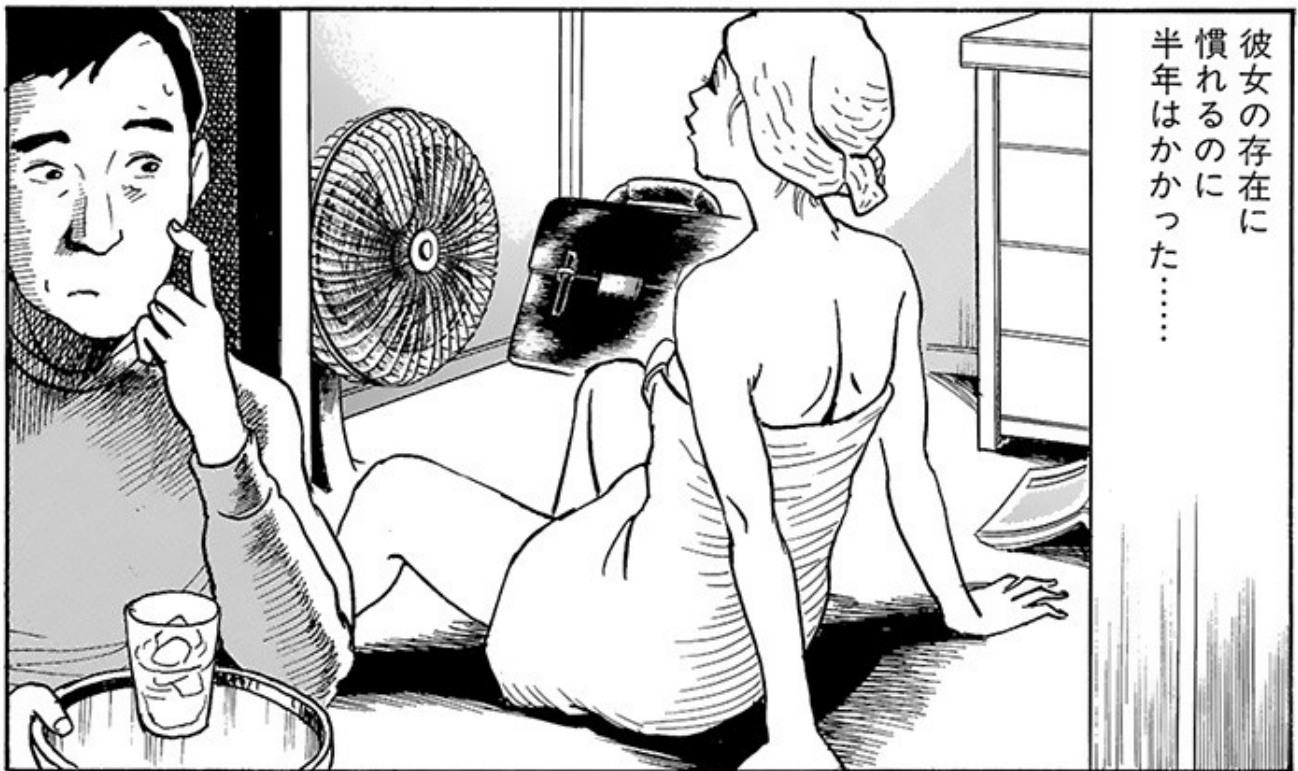


無垢なゆえの
大胆さ……



三十男には
刺激が強すぎる……





彼女の存在に
慣れるのに
半年はかかった……



俺たちは急速に親しくなり……



しかし女房に言われ
勉強を手伝うように
なると……



一年がすぎるころには
……

今度
赤点とったら
電気カミソリで
お股の毛を
剃るぞ！

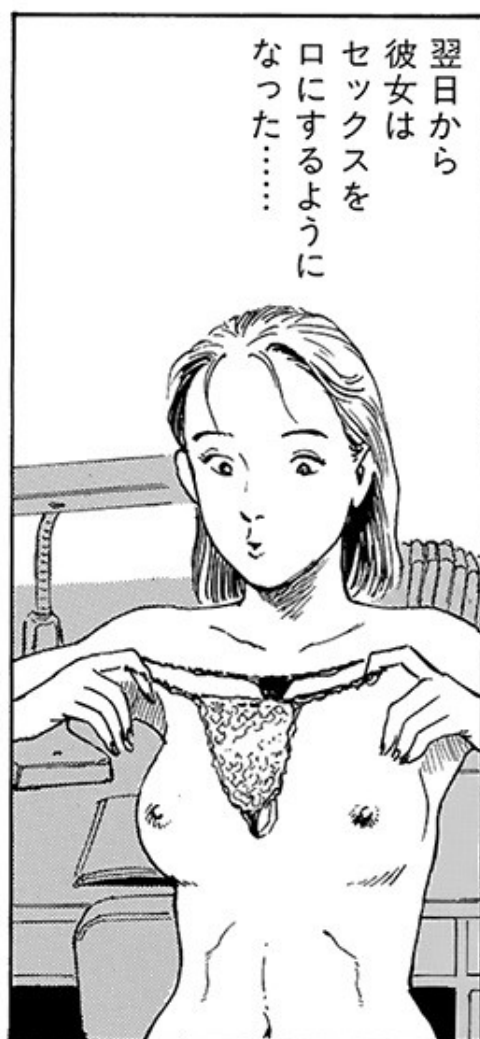
やだア
オジさんの
エッチ！

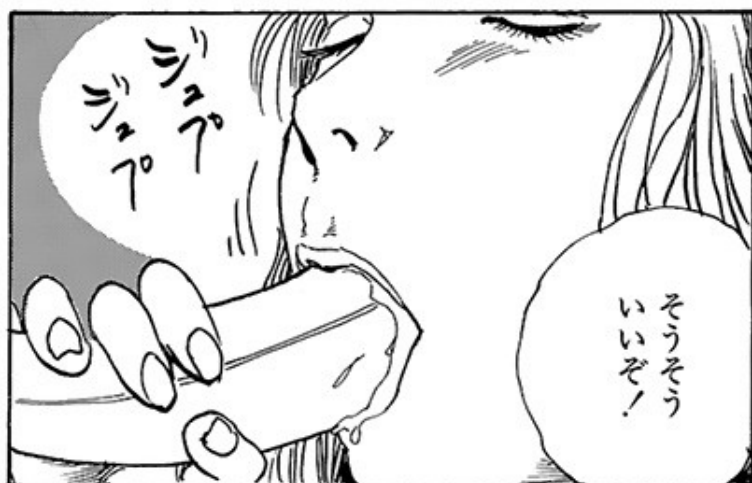
さア
勉強
勉強！

そんな会話が普通に
できるようになった……

そして二年目……

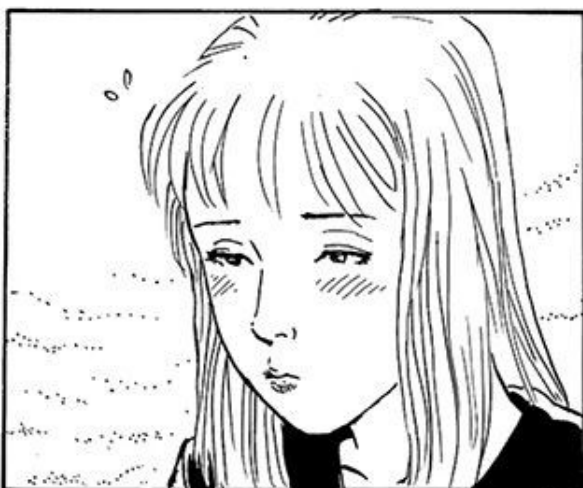






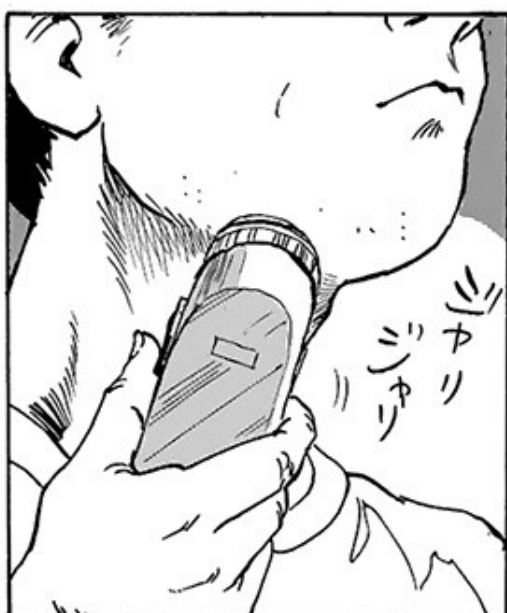




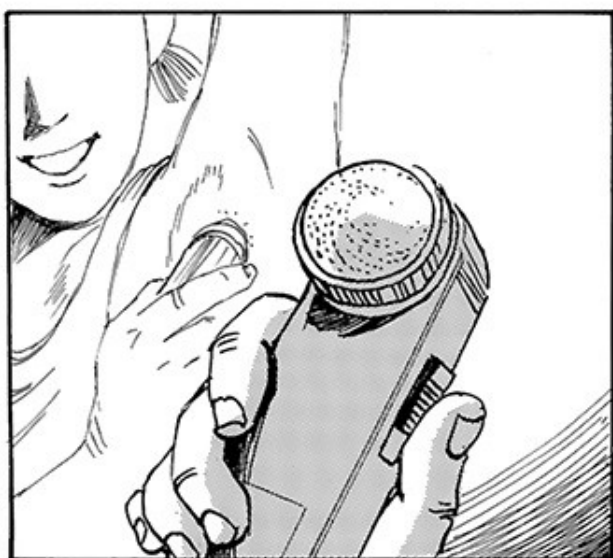


結局
彼女とは
それっきりだった……





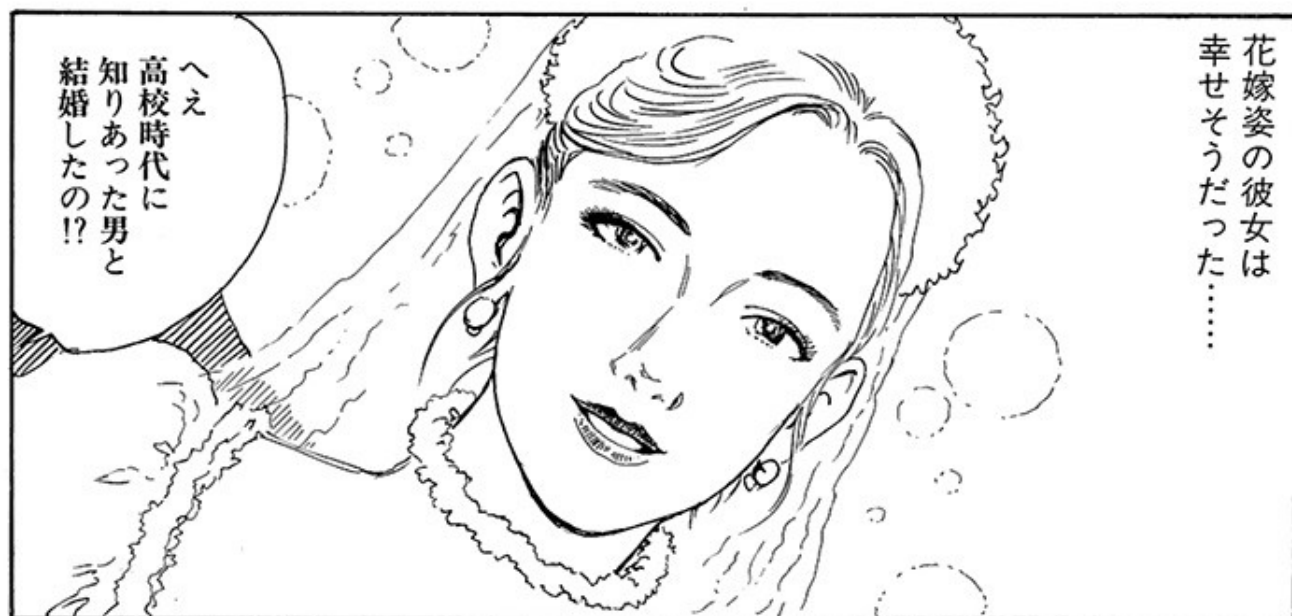
二年後
突然 彼女から
手紙が届いた……



たいくつな日々が
続いた……

花嫁姿の彼女は
幸せそうだった……

へえ
高校時代に
知りあった男と
結婚したの!?

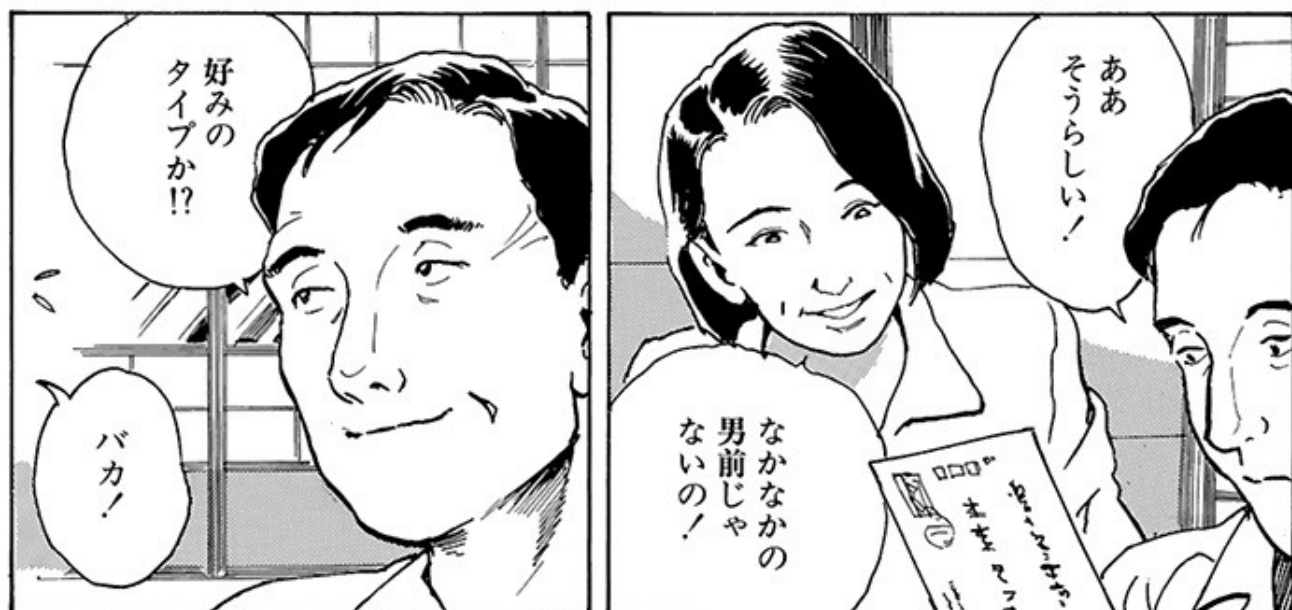


ああ
そうらしい!

なかなかの
男前じゃ
ないの!

好みの
タイプか!?

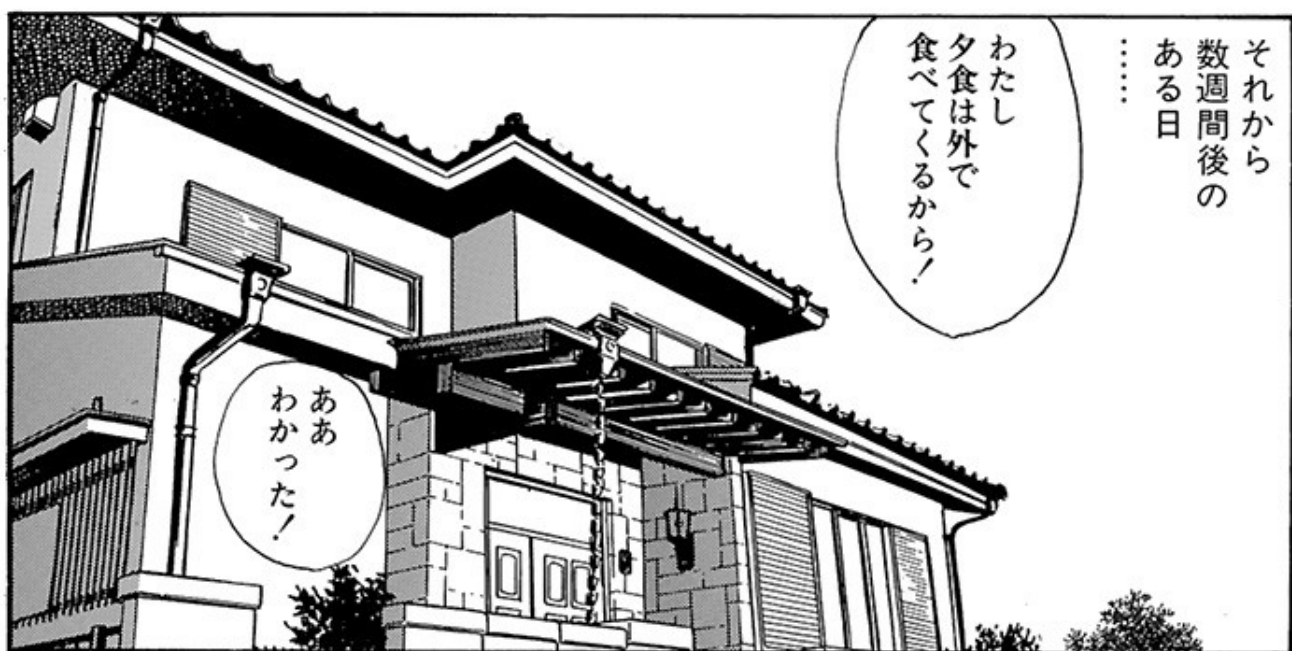
バカ!



それから
数週間後の
ある日
……

わたし
夕食は外で
食べてくるから!

ああ
わかった!











ご主人に
なんて言いわけ
するんだ!?

主人は
知ってます
なにもかも
……



オジさんの
気を引くため
なにをしたか
……

……



えっ!?

わたしのこと……
承知の上で
結婚してくれたん
です……

オジさんを
初めて見たとき
どう思ったか……



じゃあ
オジさんも一つ
わが家の秘密を
うちあけよう
……

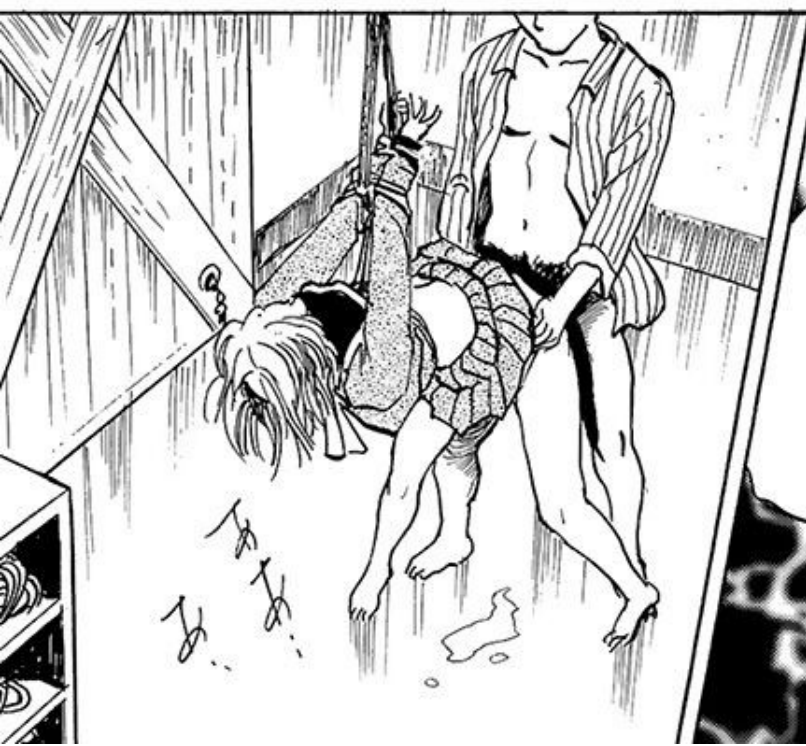




ああっ!!



下宿してたところに
キミが挑発さえ
しなかつたら
もっと早く女に
してやったのに!



オ……
オジさん!!
はああっ!!



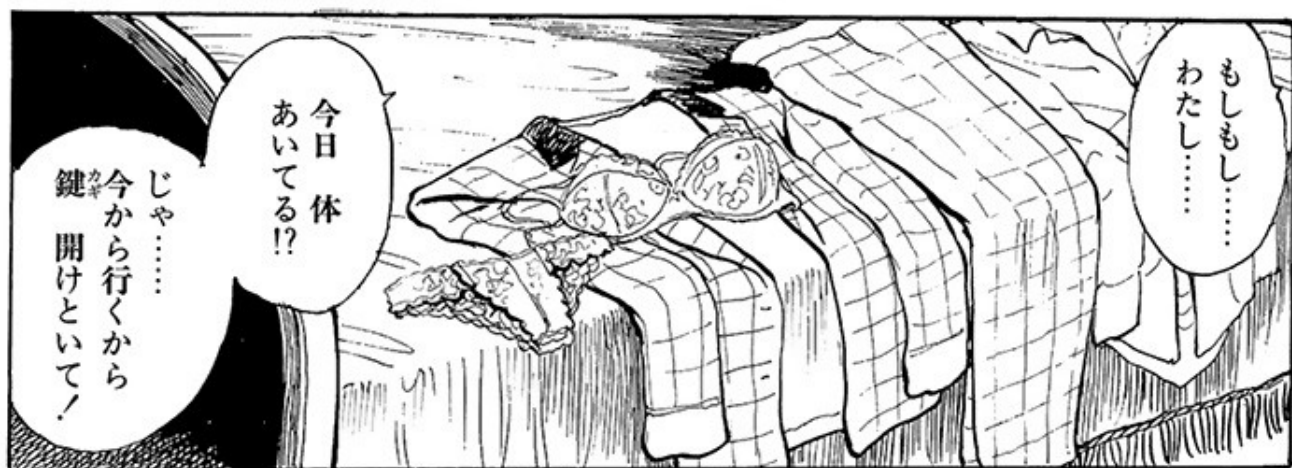
END

縛られ縄手

●しぼられじょうず●











誰かさんの
教えかたが
いいからよ!

半年前まで
いくことも
知らなかった
女が……



ぽん



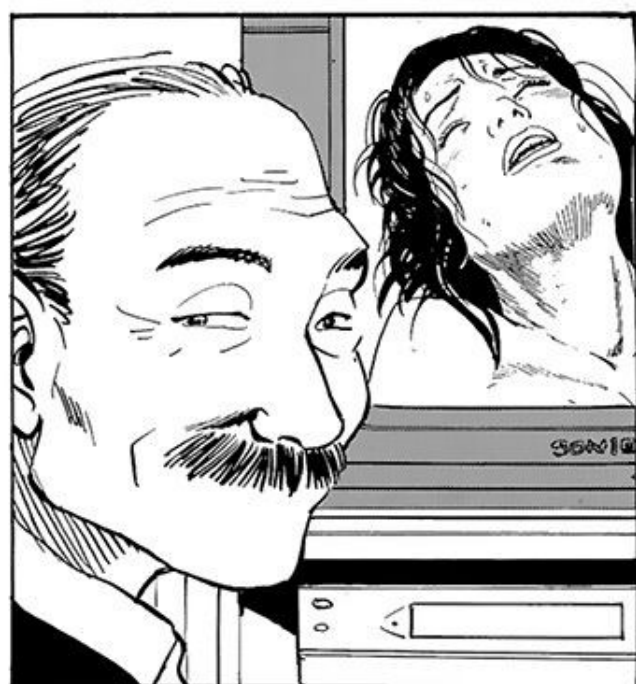
はっ
あっ!

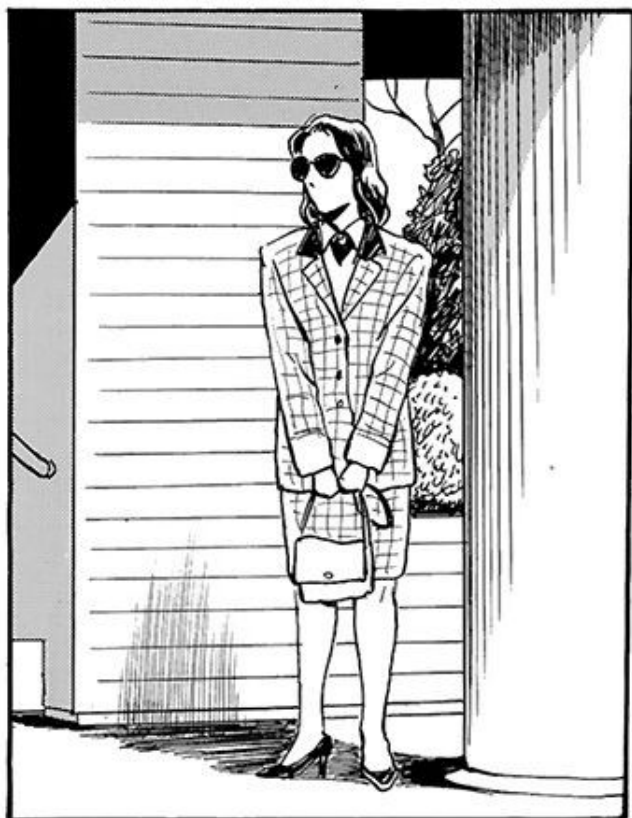


亭主には
試して
みたのかい!?

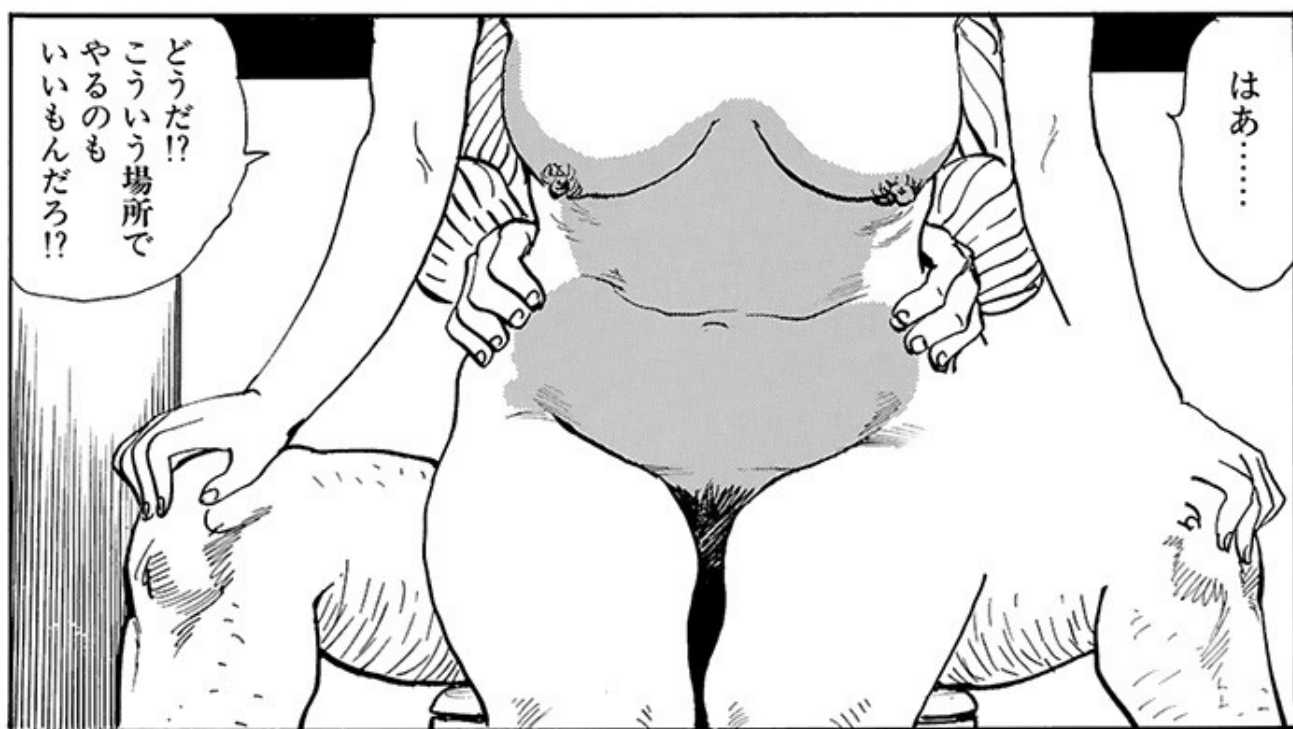
その気になれないもの
ああっ!

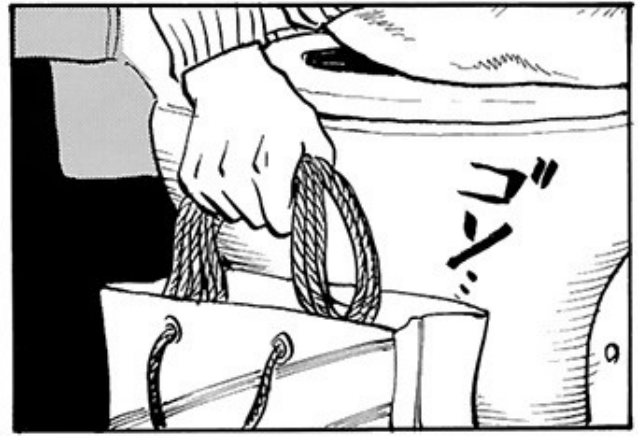


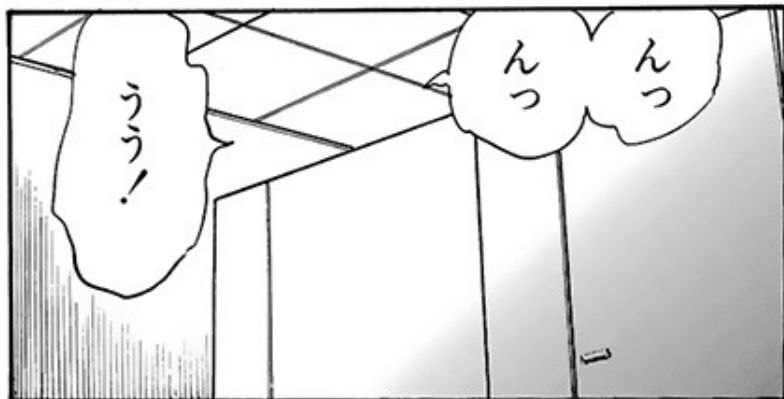
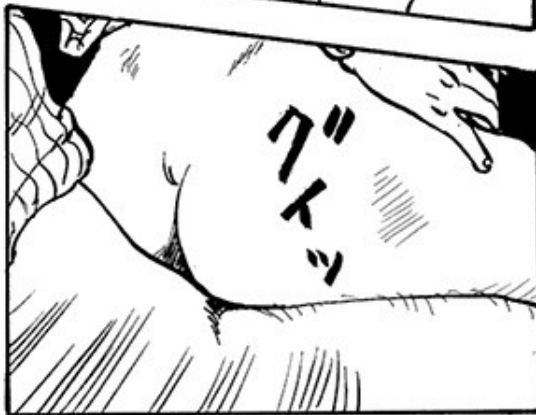






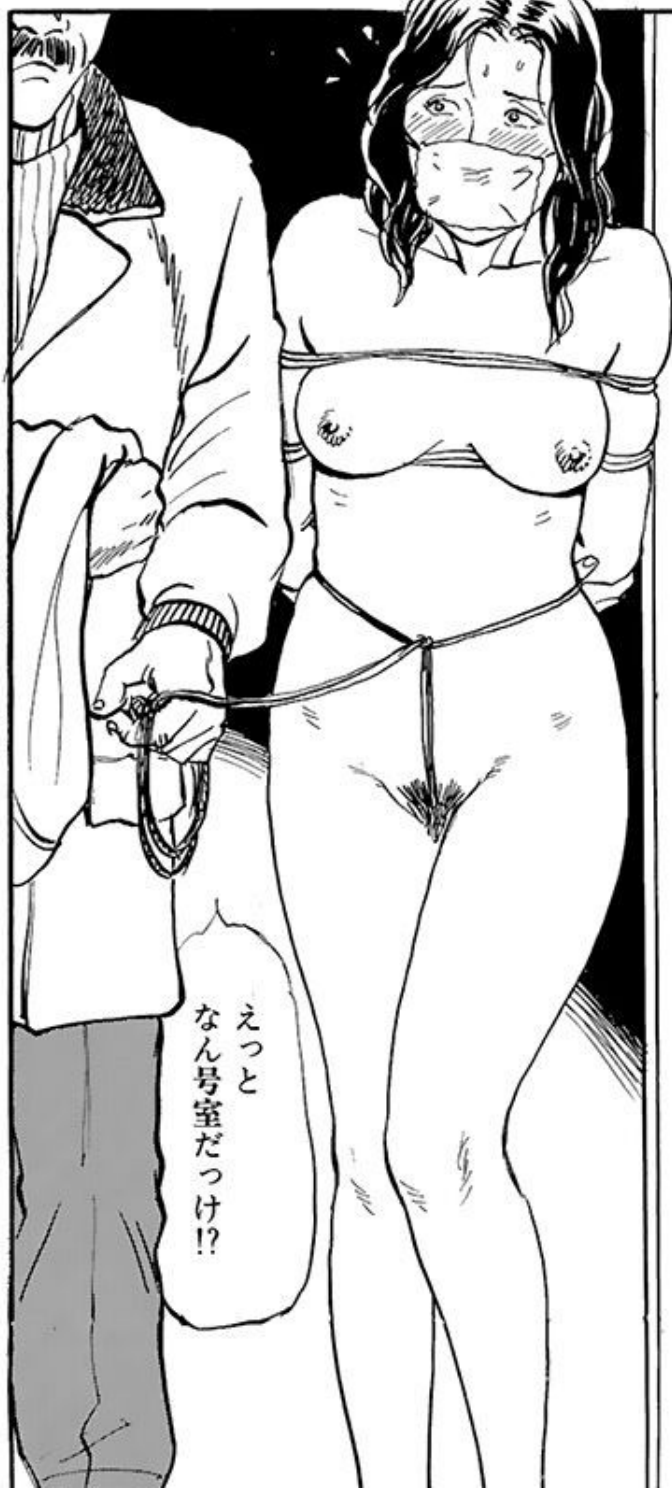
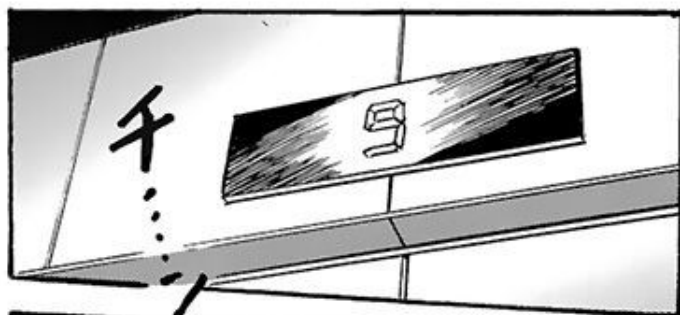


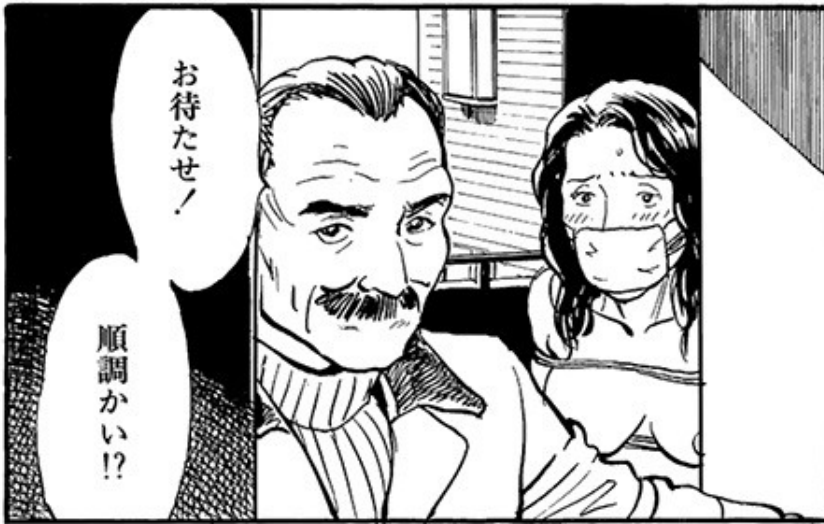


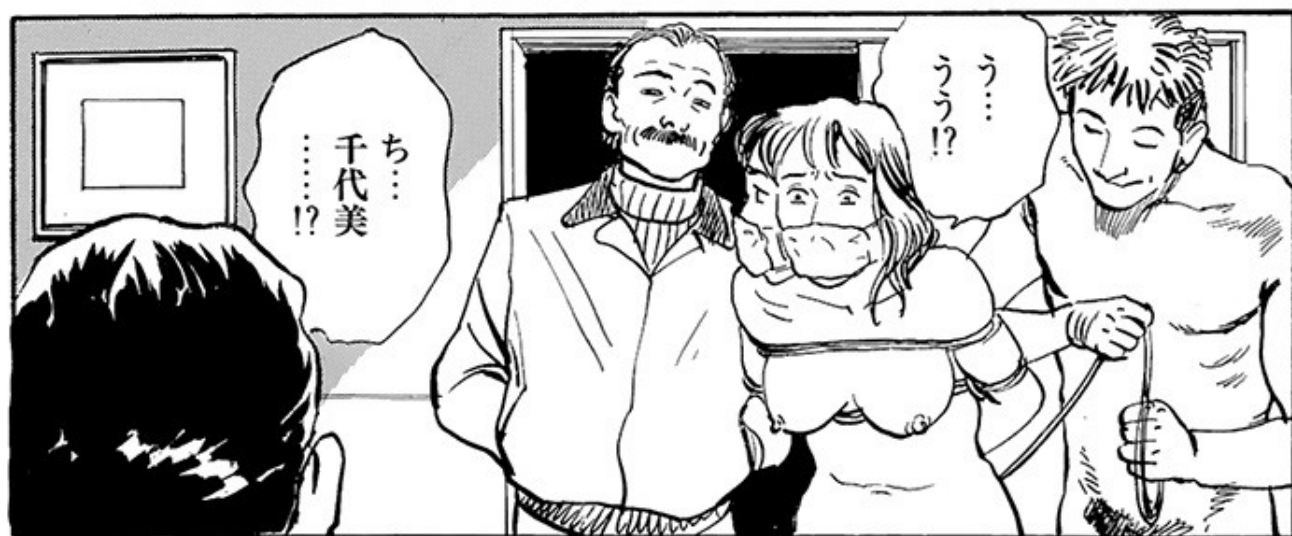
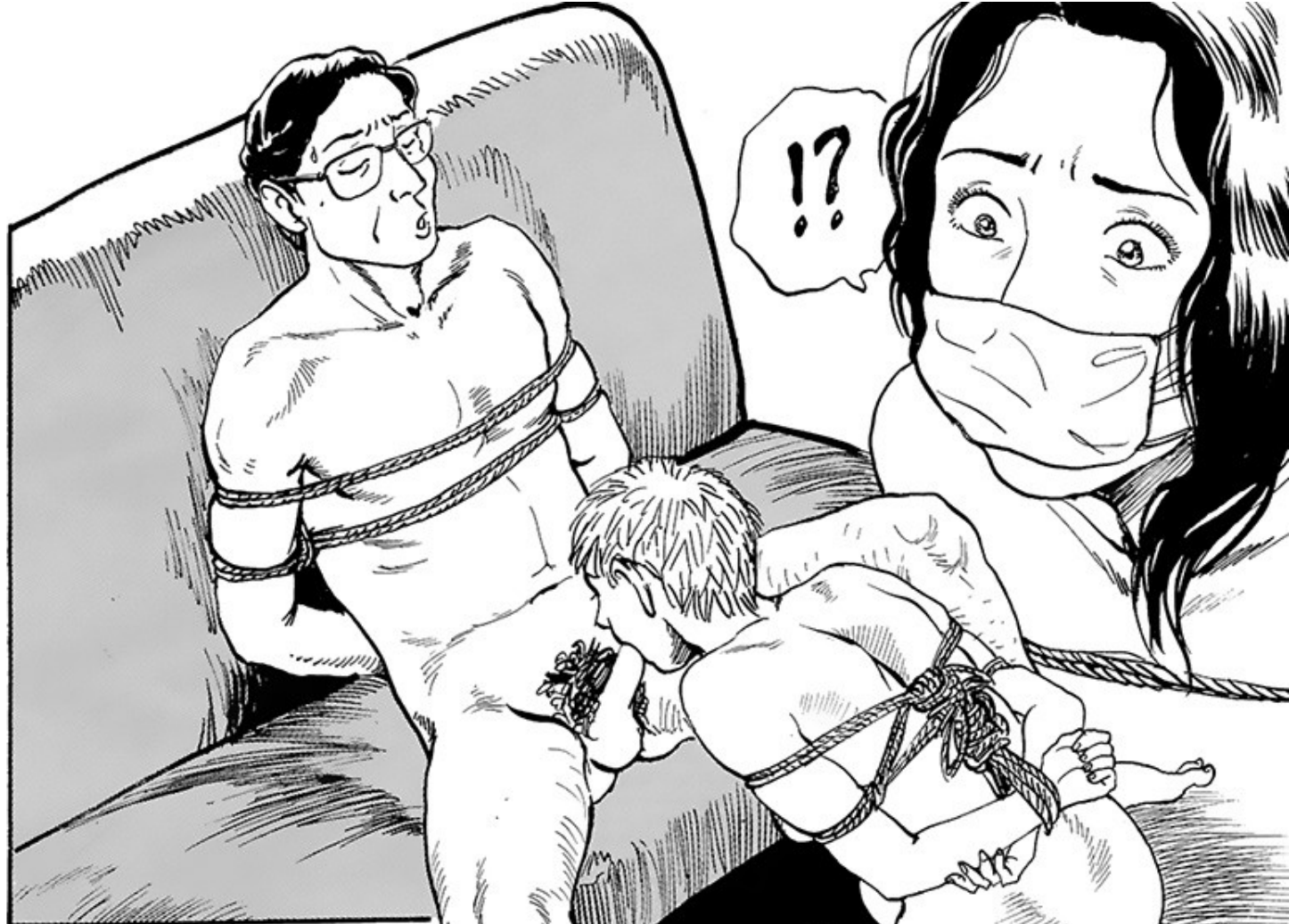












お待ち
かねの
オ○○コだぜ!

う……うっ……

あ……あたし
もうトイレへ
行っていい!?

来なさい
アヌス栓を
はずして
あげよう!

ル……ルリ……

おやおや
女房の
マ○コじゃ
不満かい!?

あんな小娘の
愛人ごときにや
まだ 負けてねえよ
なア 奥さん!?

う……うっ!!

締まりが
よくなるように
俺も協力して
やるからよ!

おっうっ!!





あつ
い……いい……

ち……千代美
……!!

女房が
こんなに
なる女だとは
知らなかった
かい!?

堅そうな女ほど
一皮むけば……
なんてな!



一晚中
愛人のレイプシーン
見せられて
だいぶ溜まってる
だろ!?

濃いの一発
淫乱女房の
腹の中に
ぶちまけて
やりな!

あ……あつ!
あああつ!!

おっうっ
千代美……
で……出る!!

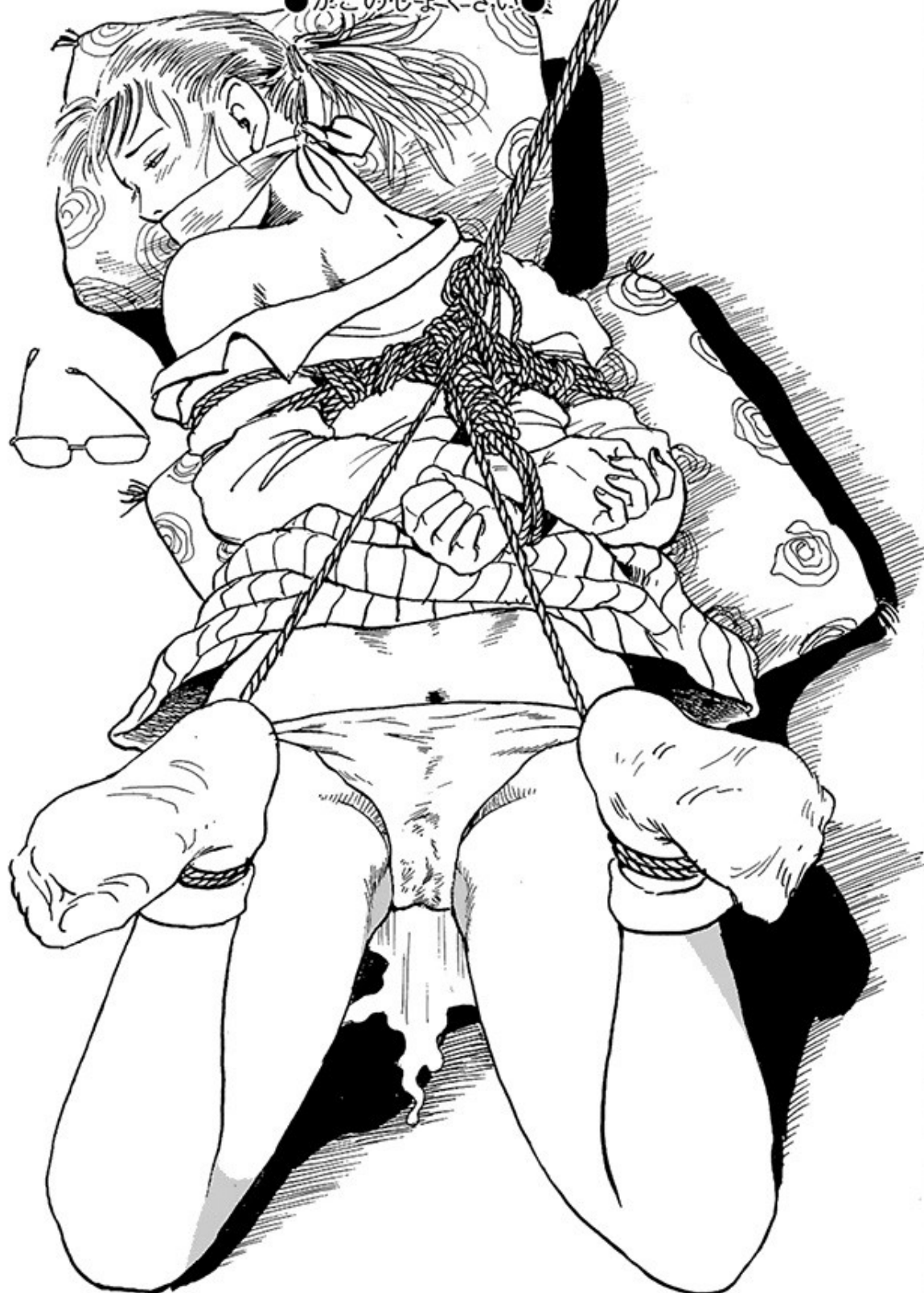


ったく...
しょうがねえ
助平オヤジ
だぜ!

END

過去の触罪

●かこのしよくざい●





はい
中村で
ございます！

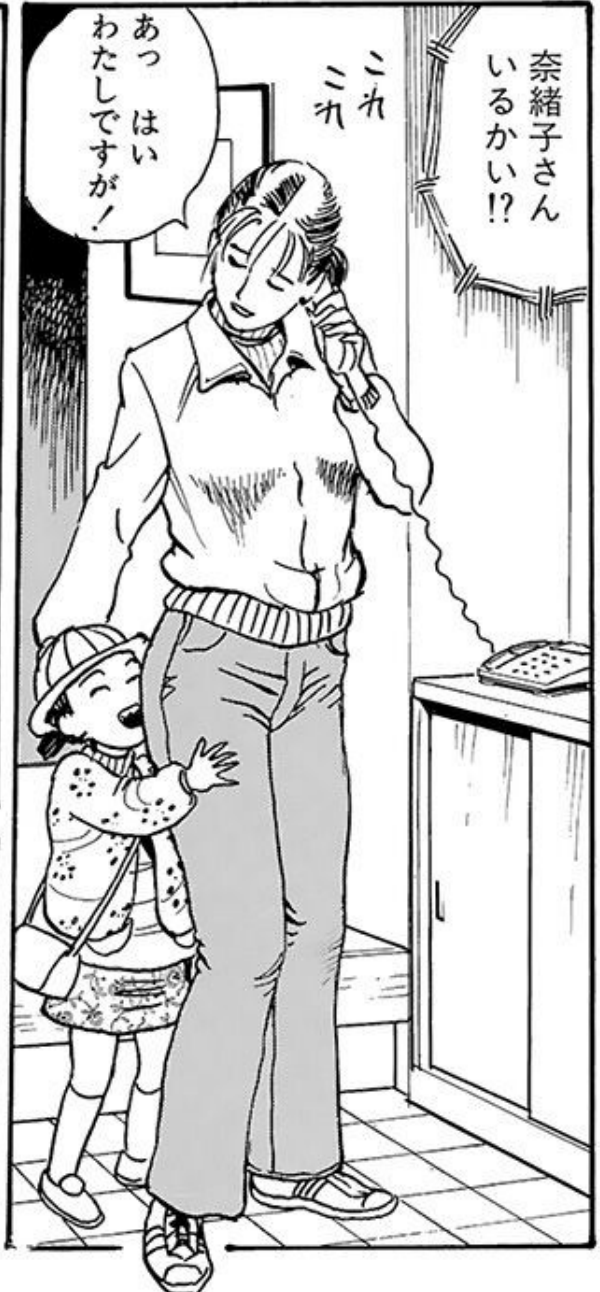


ママ
電話だよオ！

あら!? もう
お迎えのバスが
来ちゃうのに!



高木って男
覚えてるかい!?



奈緒子さん
いるかい!?

これ
これ

あっ はい
わたしですが!



し...
知りません
そんな人
.....

目まいがした……

ママ
どうしたの!?

思いだしたくない
過去だった……

な…なんでも
ないのよ……

ほらほら
バス 来ちゃうわよ
……

そして……

誰にも知られたくない
過去だった……

はい……

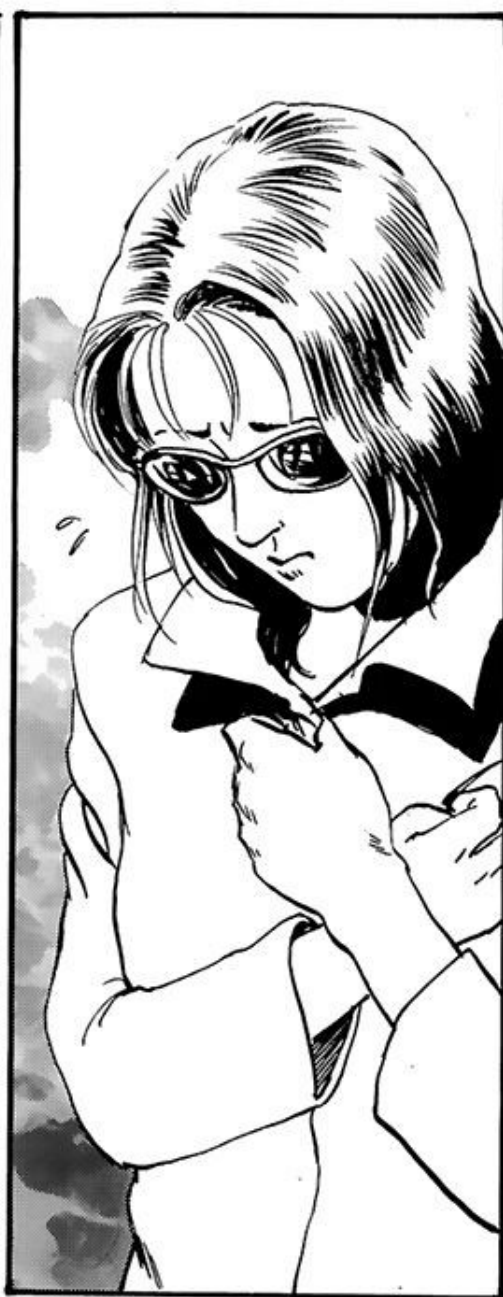
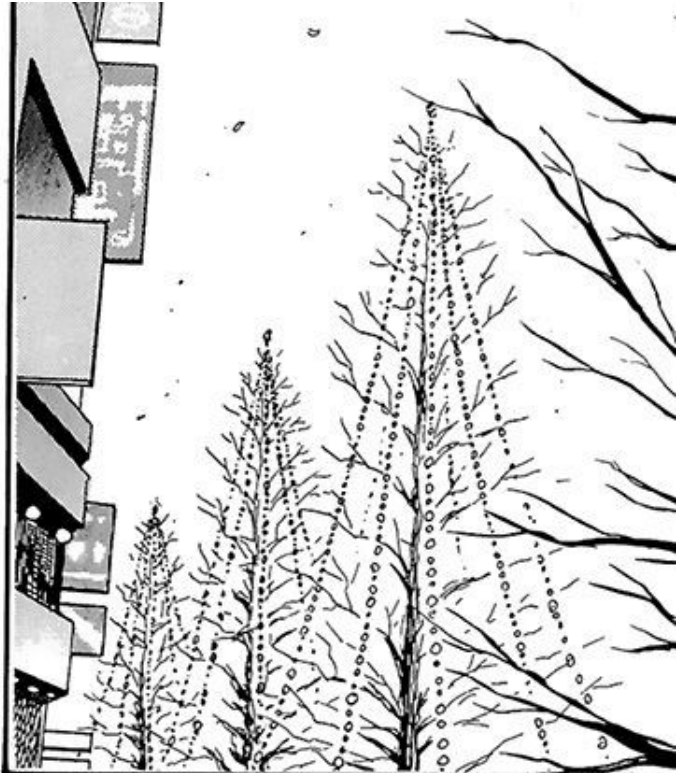
ネタは
あがってん
だよ!

ご主人は
高木とのこと
知ってる
のかい!?

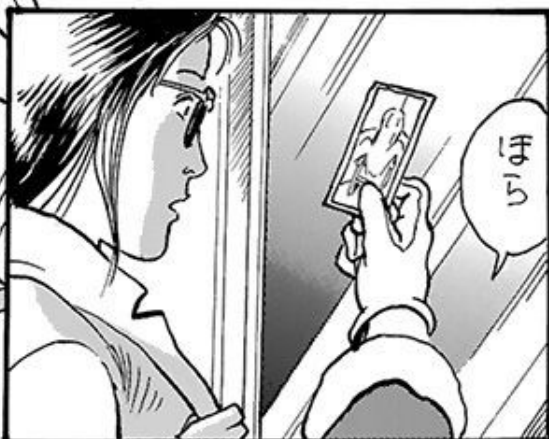
高木という悪魔のような男の死とともに
忘れたはずの過去だった……

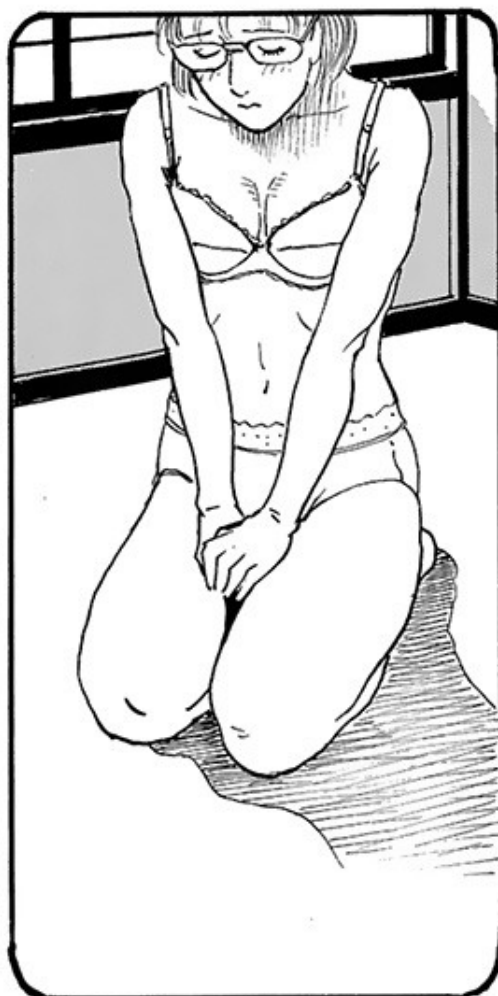
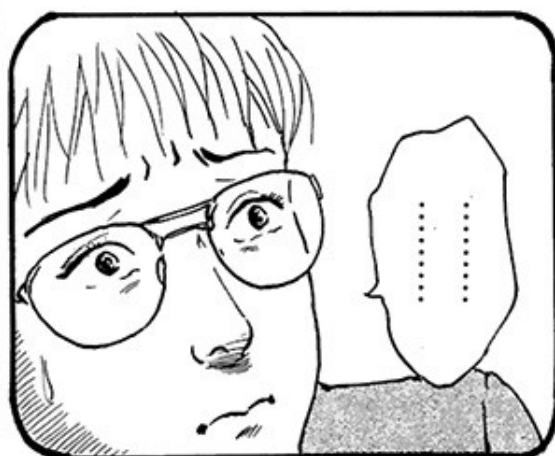
RRR

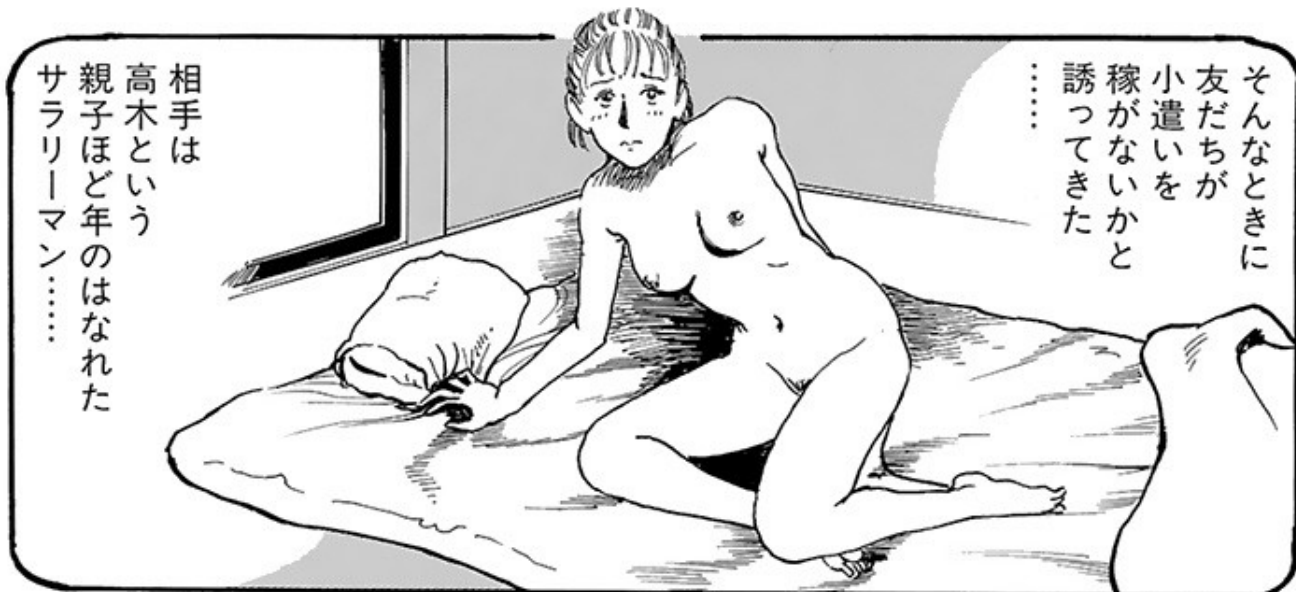
RRR











そんなときに
友だちが
小遣いを
稼がないかと
誘ってきた
……

相手は
高木という
親子ほど年のはなれた
サラリーマン……



東京に妻子を残し
わたしの住む町に
単身赴任していた……



……
初めてだった



わたしの
一生に一度の経験は
わずかなお金にかわった……



その後もなん度か
友だちに誘われたが
断った……

あんな思いは
二度とゴメンだった
……



あんなが
ホントに
高木のことを
忘れたか

確かめるのさ!



結局 専門学校へは
行かなかった……

こ…
こんなところで
なにをする
つもり……!?

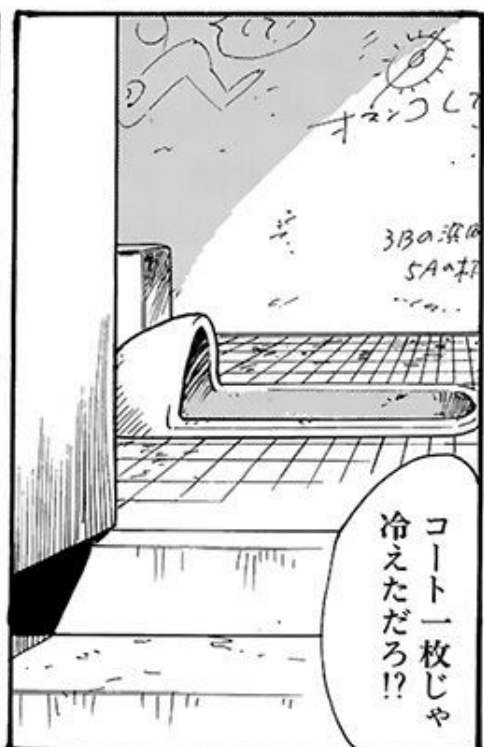


他の写真も
あるぜ!

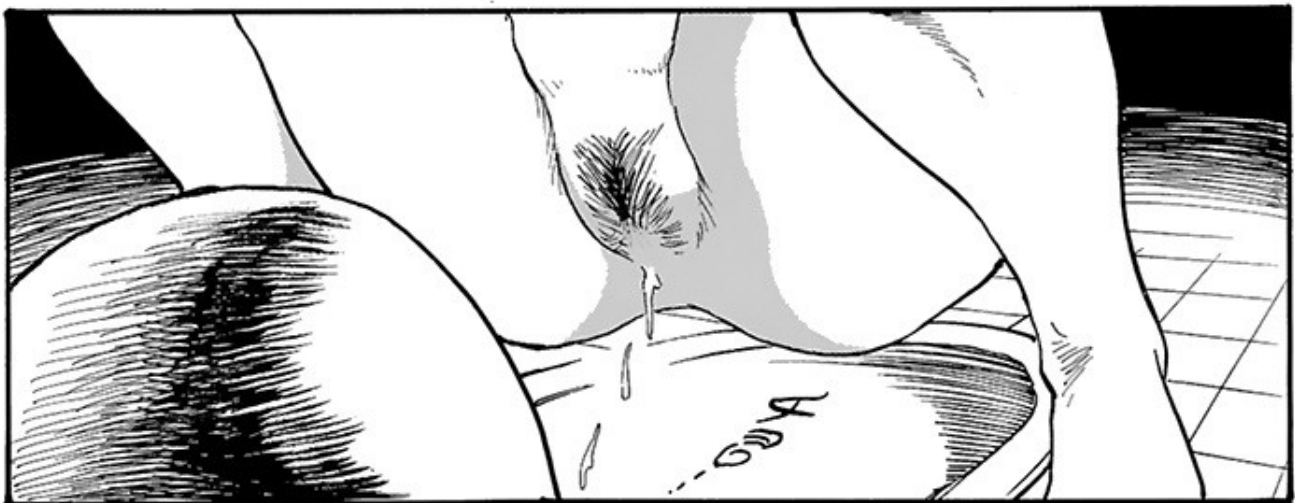


い…いやです
そんな……

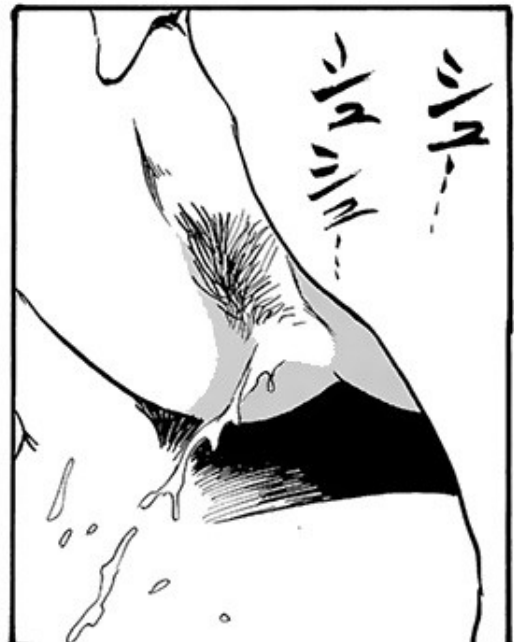
小便して
みせな!

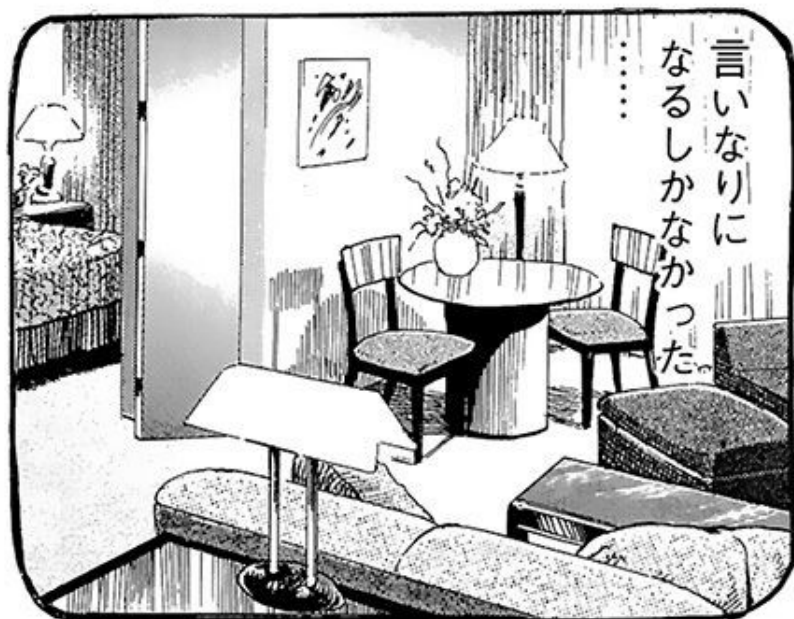


コート一枚じゃ
冷えただろ!?



卒業後……
わたしは就職のために
上京した……

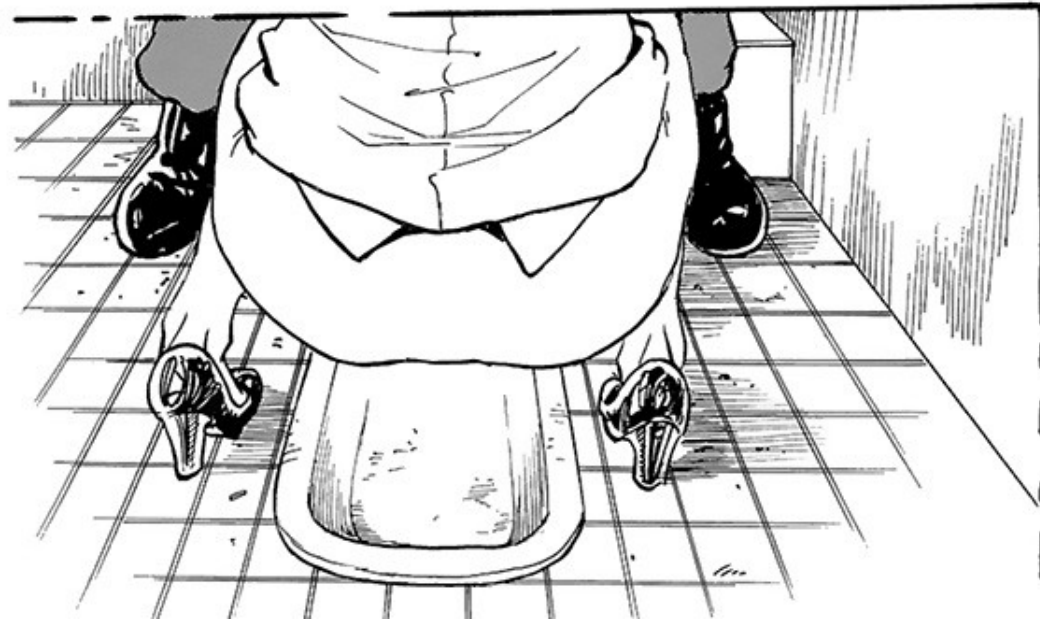








ほとんど毎日
高木はわたしのアパートに
泊まるようになった……





もっと腰を振るんだよ!



毎回 わたしが
いっぼう的に
奉仕させられた……



俺をいかせるまで寝かさんぞ!



一カ月ほど
したとき……



あっ!!

それまで
感じたこともない
感覚が
体に走った……

全身の毛穴から
汗が吹きだすような……



ああっ!!

ほら!



高木にふれられ
感覚が一層
強くなってくる
……



はああっ!!
いやっ!!



でも
大波のように
押しよせる感覚は
柳えようがなくて

わたしはうろたえ
あらがった……

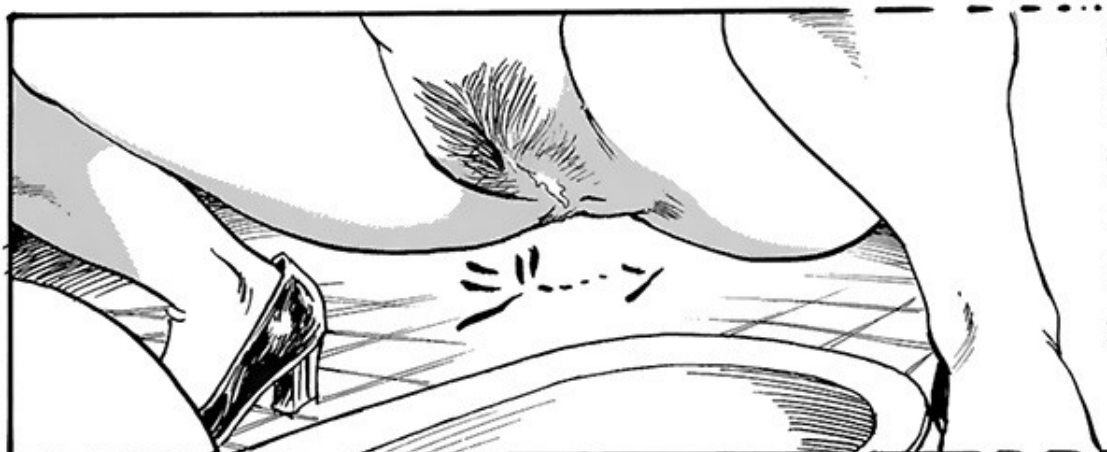


自慢気に……

それが
いくということだと
高木が言った……



頭の中が膨張し
突然 目の前が
白い光に包まれた
……



わたしの体は
犯されながらも
いくのだと
教えられてしまった……



ううっ
もういいぜ
奥さん!

いっちまい
そうだ
もったいねえ!



あつ ダメツ
どうして
濡れてくるの
……!?

コートを
ぬぎな!

ゴソ
ゴソ



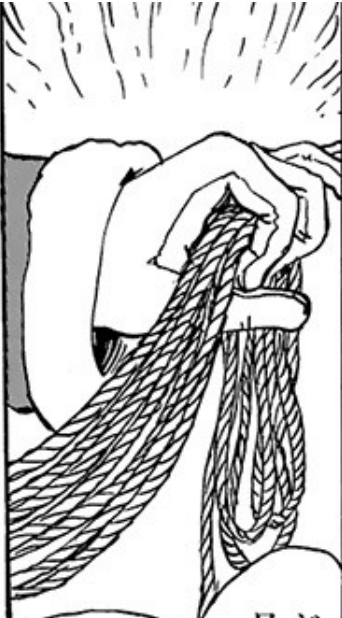
高木ってヤツほど
うまくはねえが

ズル



どうしても
見たくてな!

縛りあげると
潮を吹く
マ○コってのを!



自分の体が
いまわしかった……



いくことを覚えた体は
高木の思うままだった……







高木が
事故にあい
わたしは
解放された
……

やがて 心まで
性の快楽に
支配され
はじめたとき……

もう みじめな思いを
しなくてすむ……
そう思ってたのに……

シッポ

股ぐら
グシヨ
グシヨにして
よくいうぜ!

お願い!!
もう
やめて!!

ダ:
ダメツ!!
はああッ!!



じゃ 俺は
あんたの顔に
噴水といくか!

おうら!



くうっ!!

まるで
噴水だな!

ジュッ
ジュッ
ジュッ



ザーメン
まみれで
家に
帰んな!



あんたにや
それが
お似あいだ!



あなた
誰なの!?



あんたの望みを
かなえにきた
サンタだよ!



わたしは
こんなこと
望んでないわ……



こんなみじめな
思いは もう
たくさんよ!

ホントにいやなら
あんなふう
感じるものかな!?



あんなが
気に入ったよ!



高木の
日記は

俺が
完結させて
やるぜ!



END

● たがためにすずはなる ●

誰がために
鈴は鳴る





おまたた♡



これが二年前のあたし.....

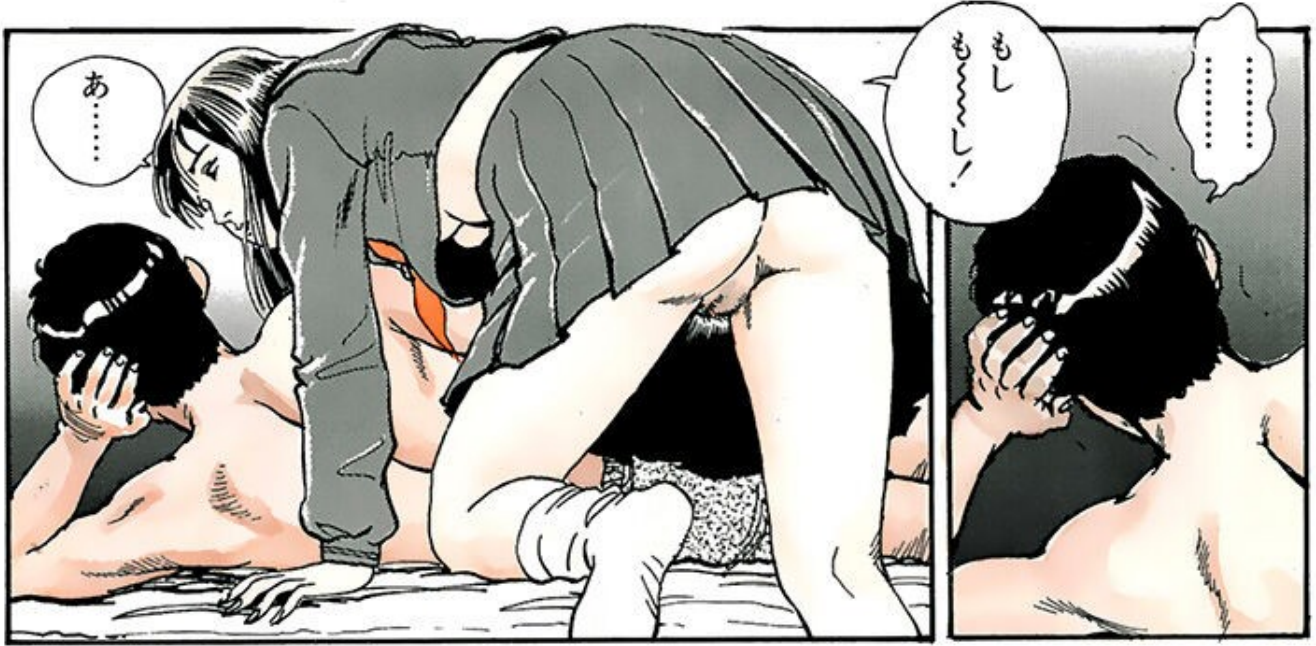
ほら先生が見たがってた.....



ねえ見て見て!

びん びん...







へえ~~~~っ
眠ってても
立つんだア……



あたしは
二十歳の女子
大生です……



ぶはっ!!



二カ月前から
十八歳年上の
バツイチ
大学講師と
交際中……

う……うう……



あっ
起きた!?



この人……
あたしの
初めての男なんです……



こ……こら
なにしているんだ
……!!?

あたし大学で
この先生にナンパ
されたんです……



中学のとき
両親の離婚騒動を
まのあたりにしたせい
か結婚や恋愛は
わずらわしいと
男を遠ざけて
いたのですが……

セックスには
すごく
興味があつて……



自分の大学の
女子学生を
ナンパするよう
な男なら
恋愛の
わずらわしさも
ないだろうと
とりあえず
一回だけの
つもりでベットへ
……



あ……あつ!!

二カ月前まで
処女だったとは
信じられんね!



さわって
……



先生の……
いたずらしたら
興奮しちゃった

キリ
キリ



処女喪失したら
今度はイクという
感覚を知りたくなり
あたしのほうから
誘って……

ひ
ま……



いくつ
いくつ
……!!

だ……
だ……
あ……!!

なんだ
もう
いつちやう
のか!?

いくつ
いくつ
!!

ギッ

ギッ

イクことを覚えてからは……



あたしは
すっかり
わずらわしい感情に
支配されていました……

セーラー服の
美少女を
オモチヤにした
気分は
どう!?



なに言ってるんだ
キミがわたしを
オモチヤに
したんだろうが
……

だって先生
イッてないじゃん!

ああ
なるほどね!



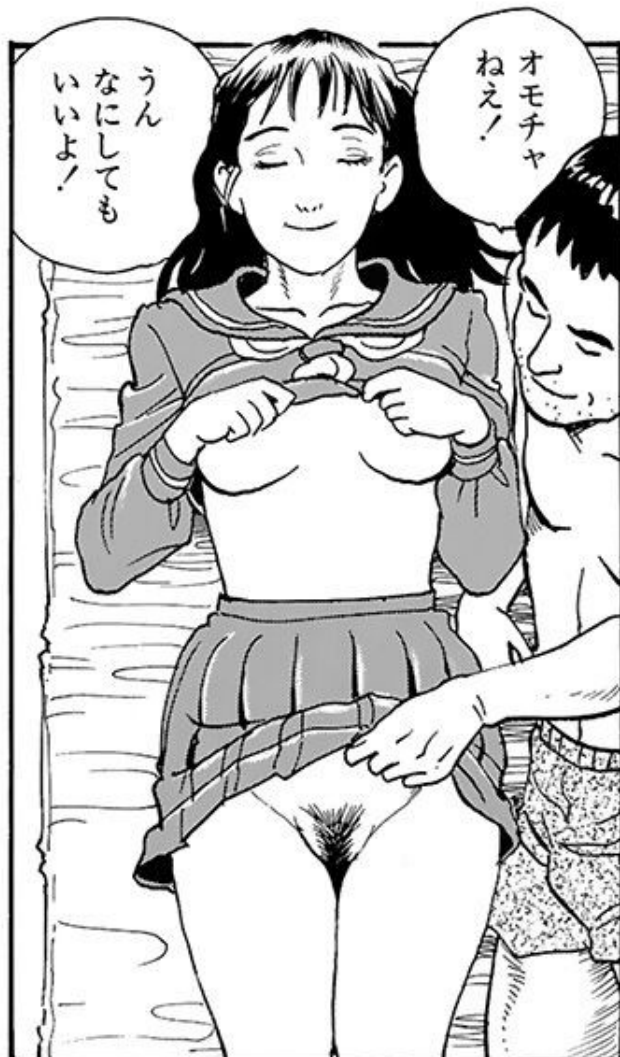
じゃ
今度はあたし
なにもしない

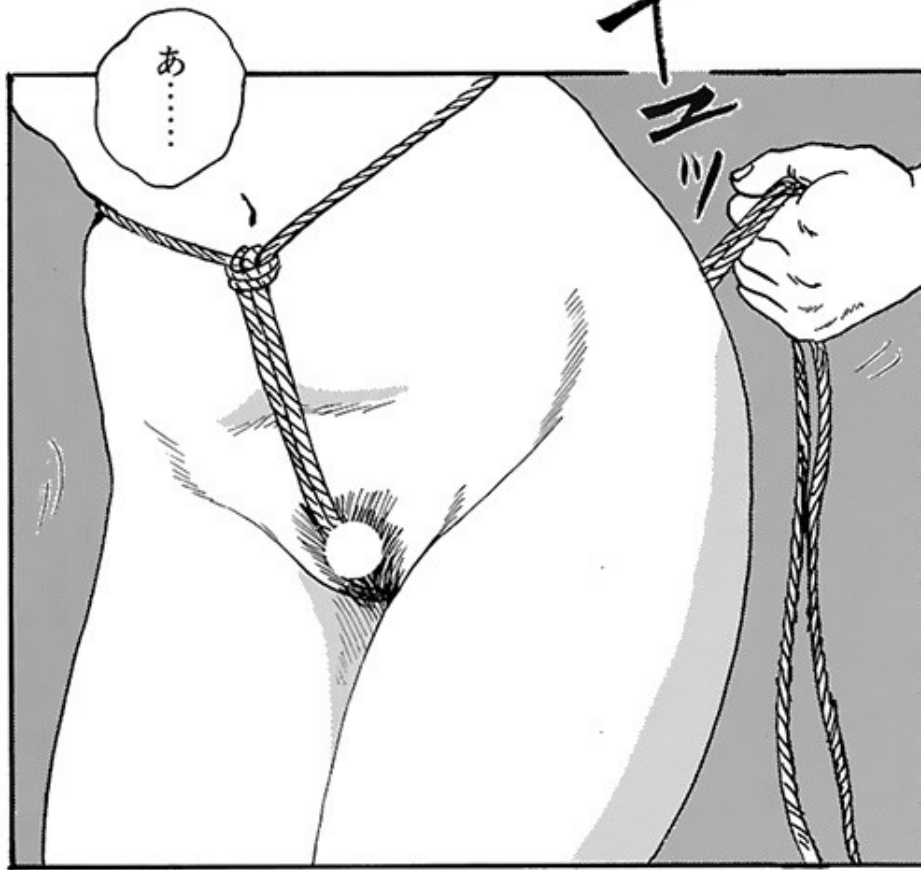
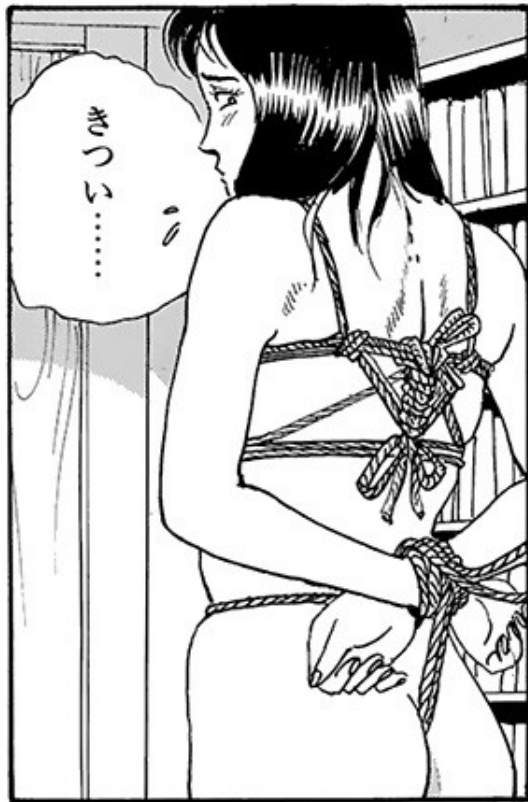
んっ!?

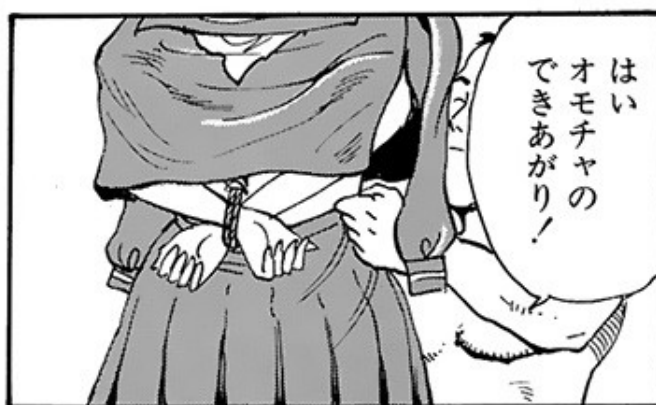
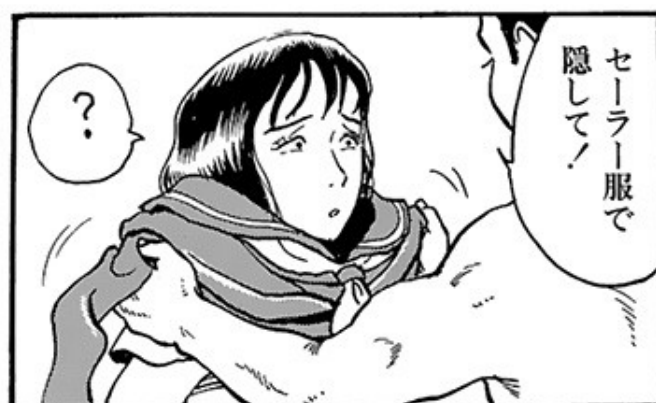


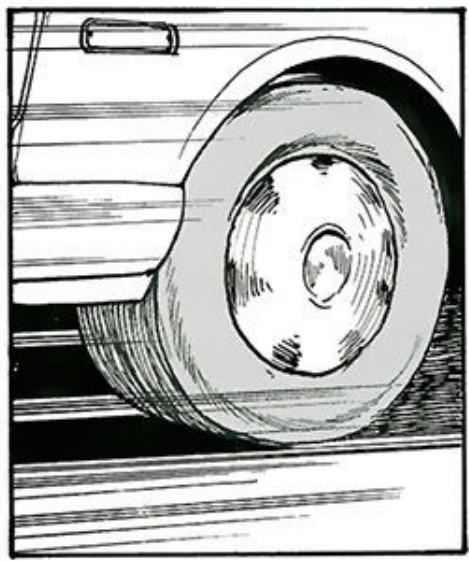
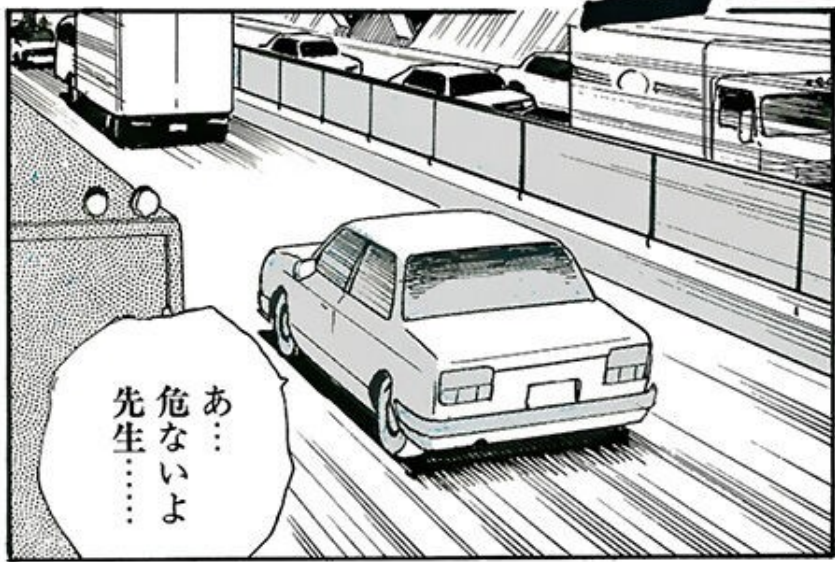
オモチヤに
して
思うぞんぶん











あ…
危ないよ
先生……



おっ 汁が
あふれてきた!

あっ
やだっ
やめて……



スリル
満点だろ
!?



ギョッ
あまう!!

ほれ!

ヒン



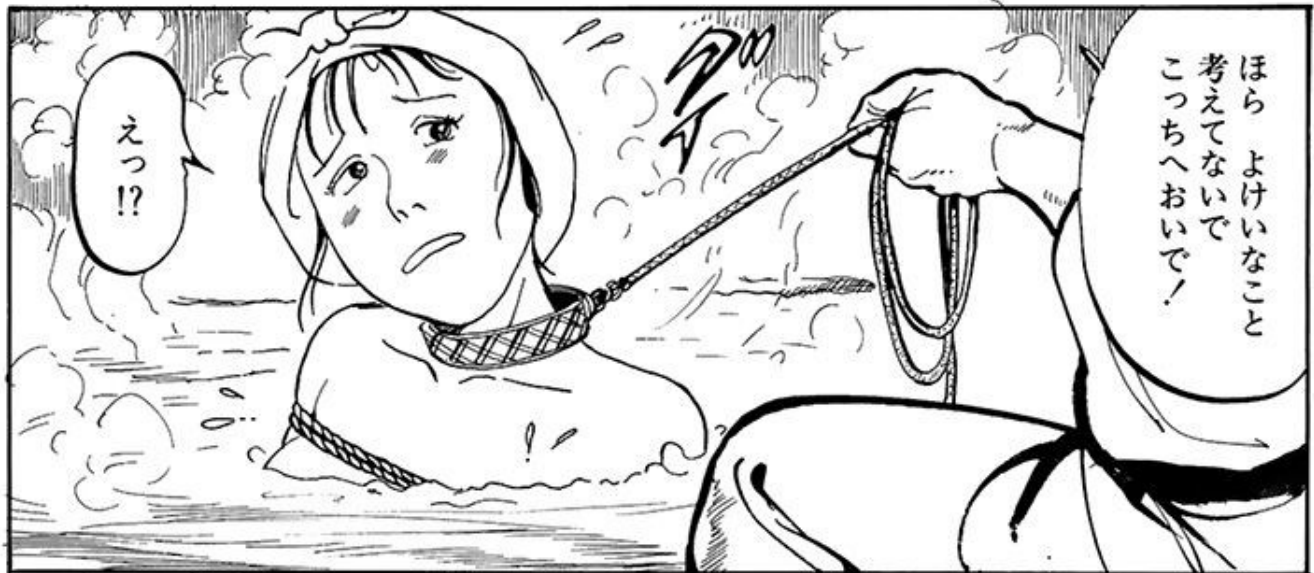
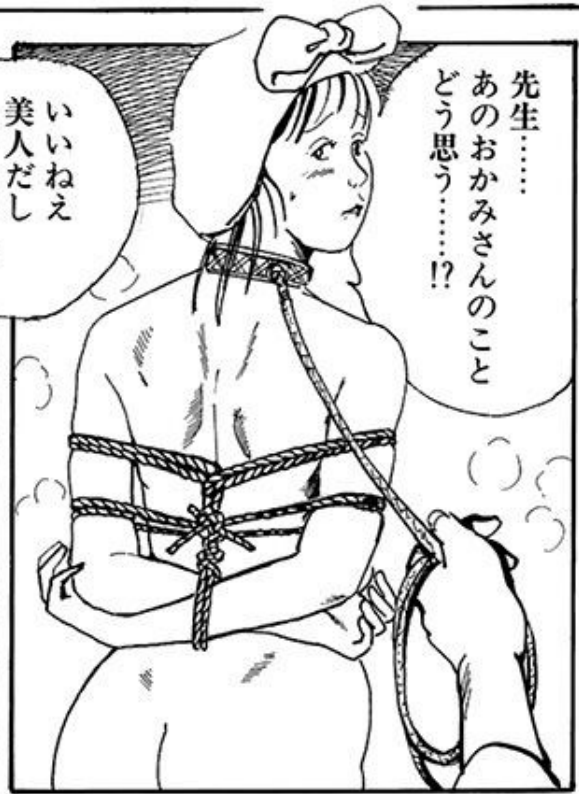
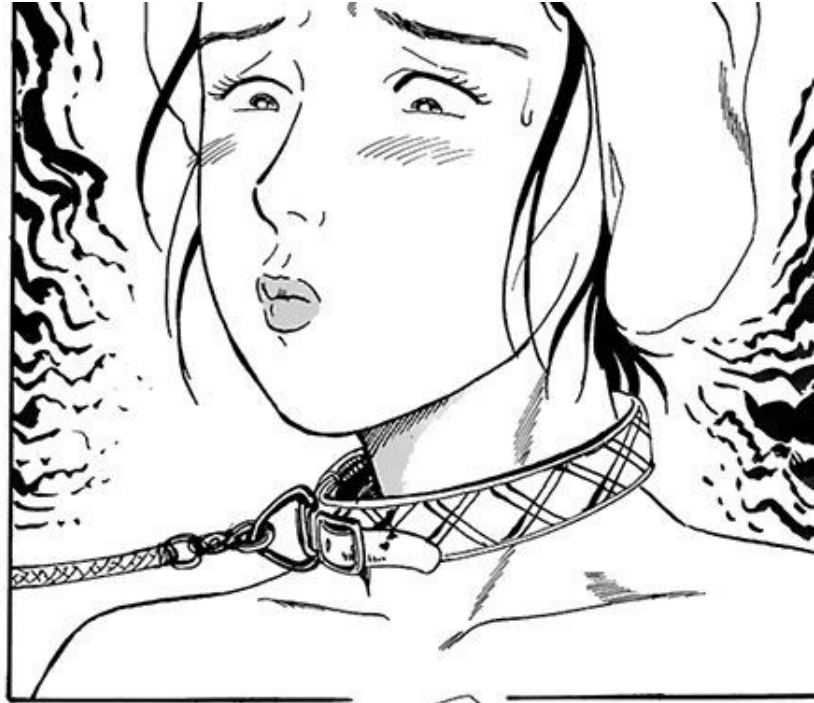
あ…ああ
ダメダメ……

んっ
いきそうか!?











ずいぶん長い間
フェラチオを
させられて……

ひは

おっとと

も……
もうダメ……
目が回る……

よしよし
よくやった
その雪で体を
冷やしなさい！

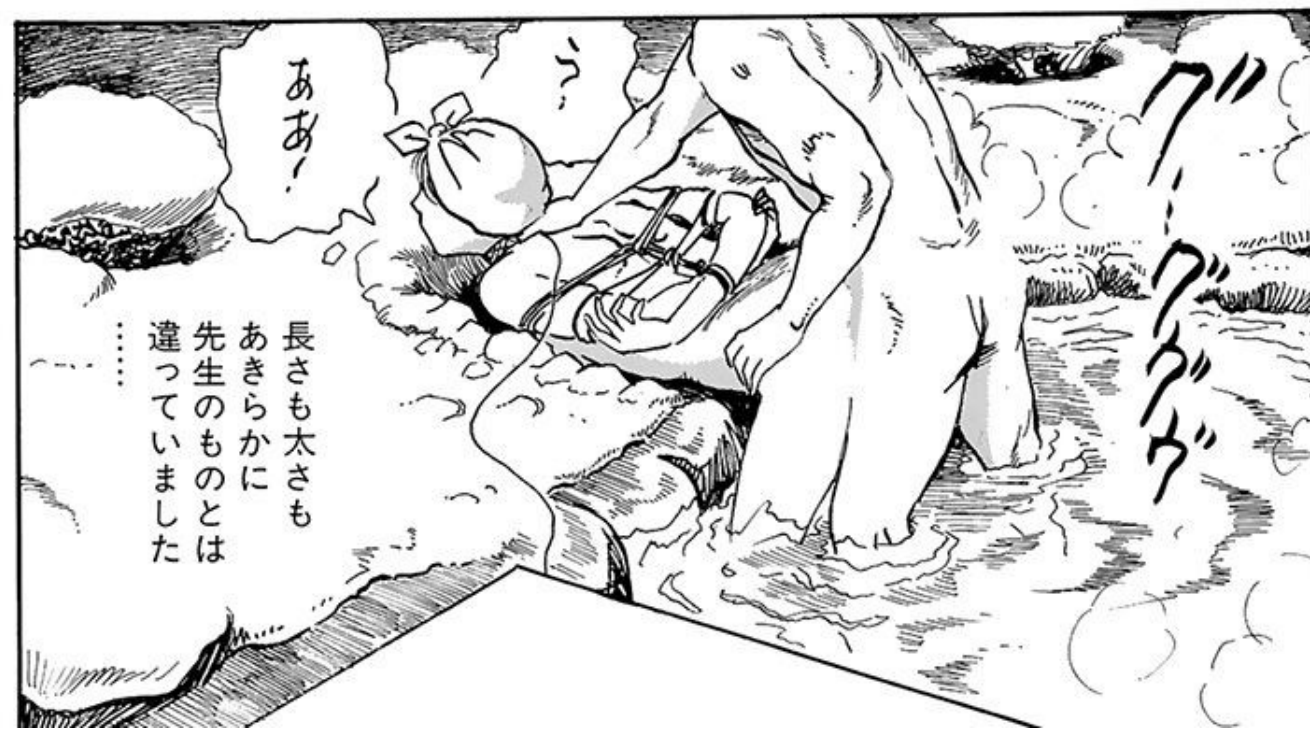
は~~~~っ
気持ちいい
……

はあ
はあ
どうにでも
しょう……

チャンン！

!?





長さも太さも
あきらかに
先生のものとは
違っていました
.....

ズ...ズ...

だ...
誰なの!?

それは
その大きさを
臆に教えこむ
かのように
ゆっくりと
動きはじめ
ました...

ズ...

あう!!

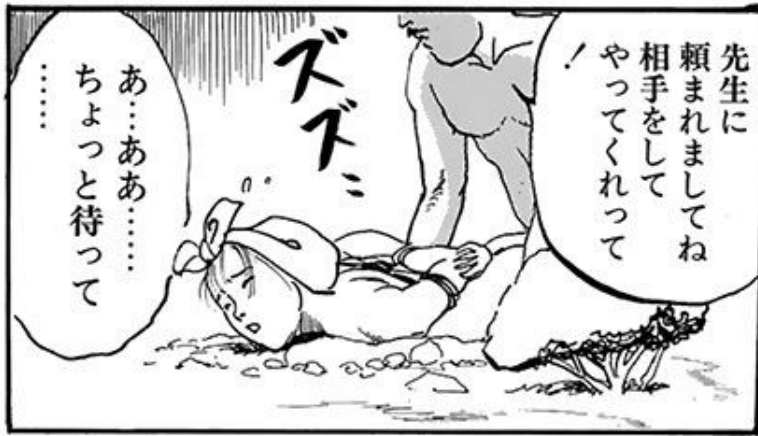
やがて
内臓が突きやぶられ
そうなほどの
強烈な一突きが
加わって.....

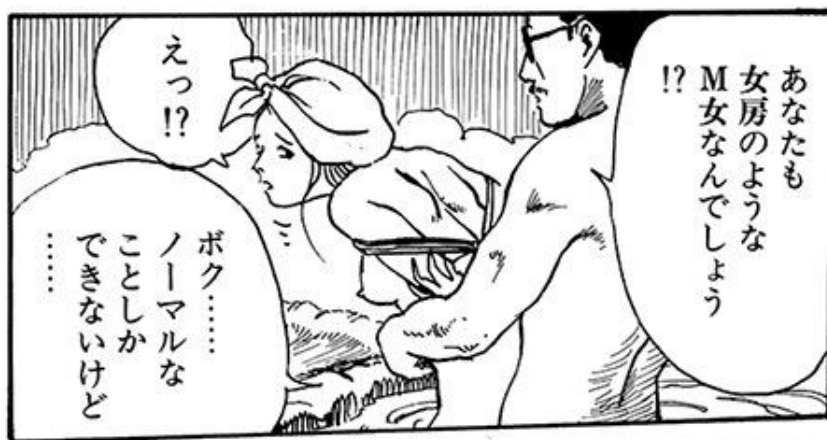
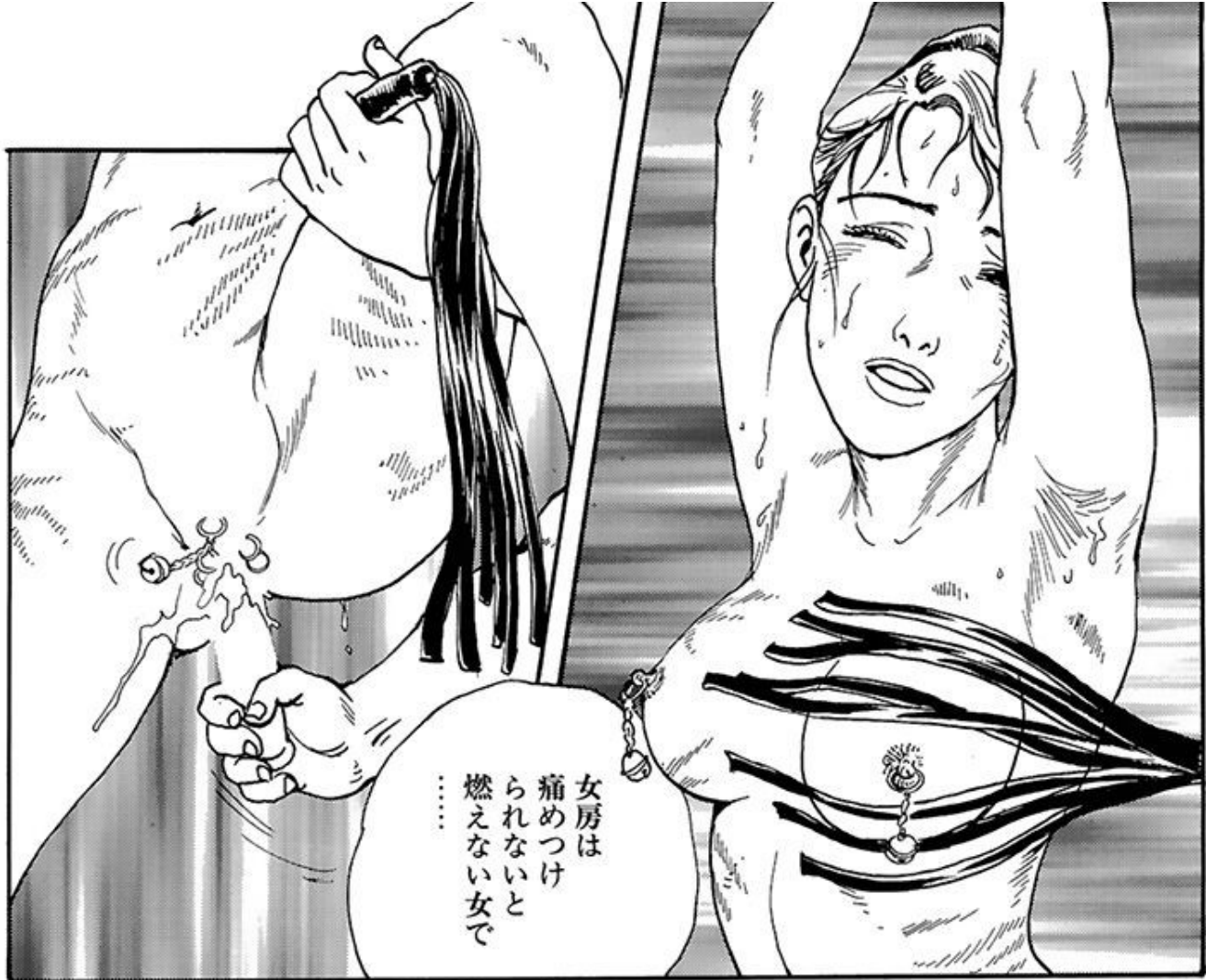
う...
うう.....

ボクの大きさに
慣れましたか!?

ズ...ズ...

またたく間に
全身の力が
抜けていきました
.....







うっっ!!

あ:
ああっ!!

こ...これで
なん時間もじゃ
いじめられてるのと
かわらない!!



女房にも同じこと
言われたから!

満足して
もらえると思
いますよ!



ご主人にいかされて
気がついたことは
恋愛感情なしでも
いくときは
いくってこと.....



ダメ!!

いきそう!!



いっくう
—っくう
!!

どうぞ
なん度でも

それから数日間
昼夜を問わず
調教されて……

しよ……処女
だったんですか!?

二度目からは
彼女のほうから
誘ってきたんだ!

マゾっ気が
ありそうなんで
試しに縛って
みたんだが……

まさか
こんなに
ハマるとはな
!

ご主人のモノは
おいしいか!?

はひ……
おいひい
えふ……

いかな
独りじめ
したくな
ってきたよ!

あたしの初めての恋愛は
成就したようです……

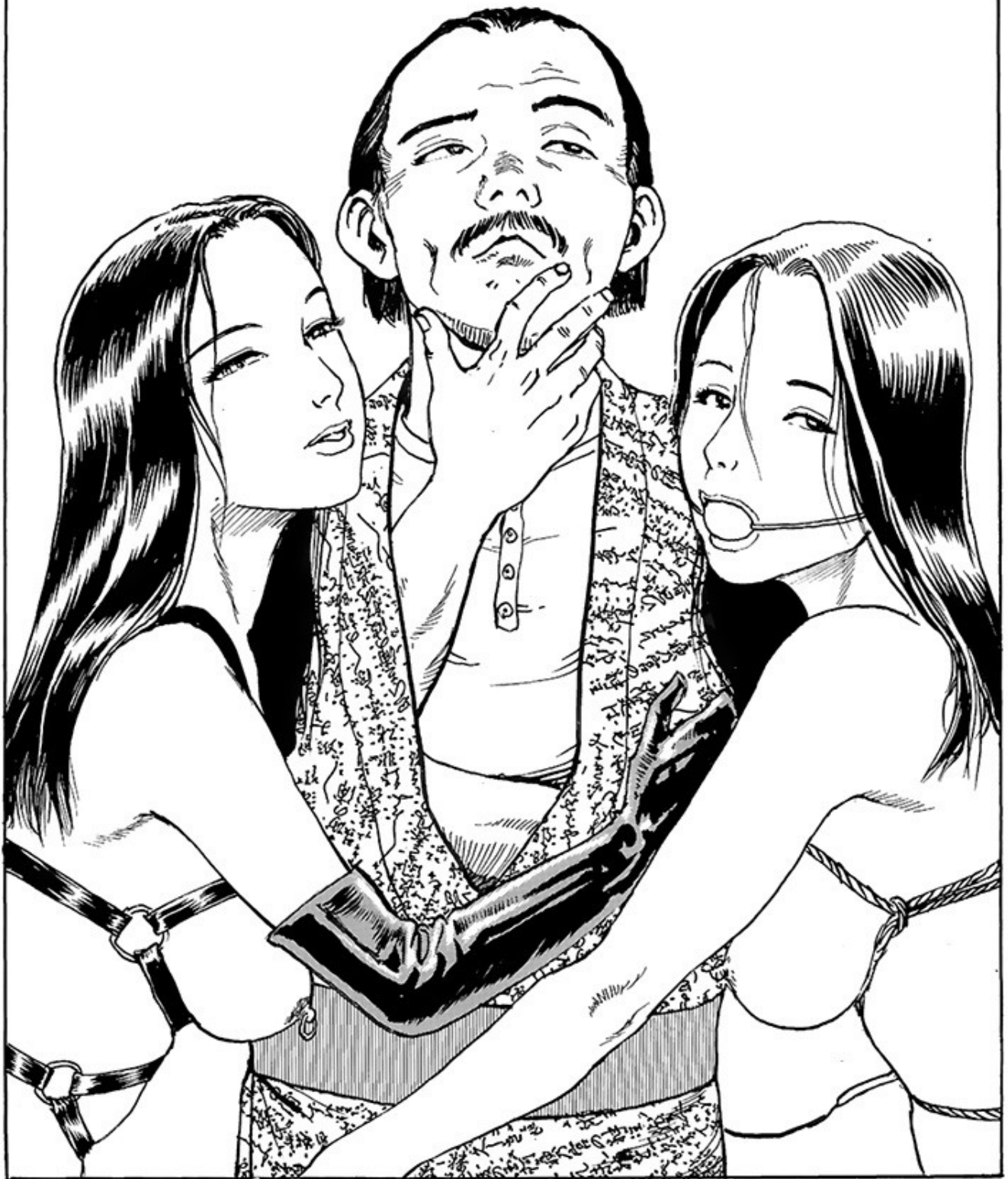
今ではあたしの体の
一番敏感なところで

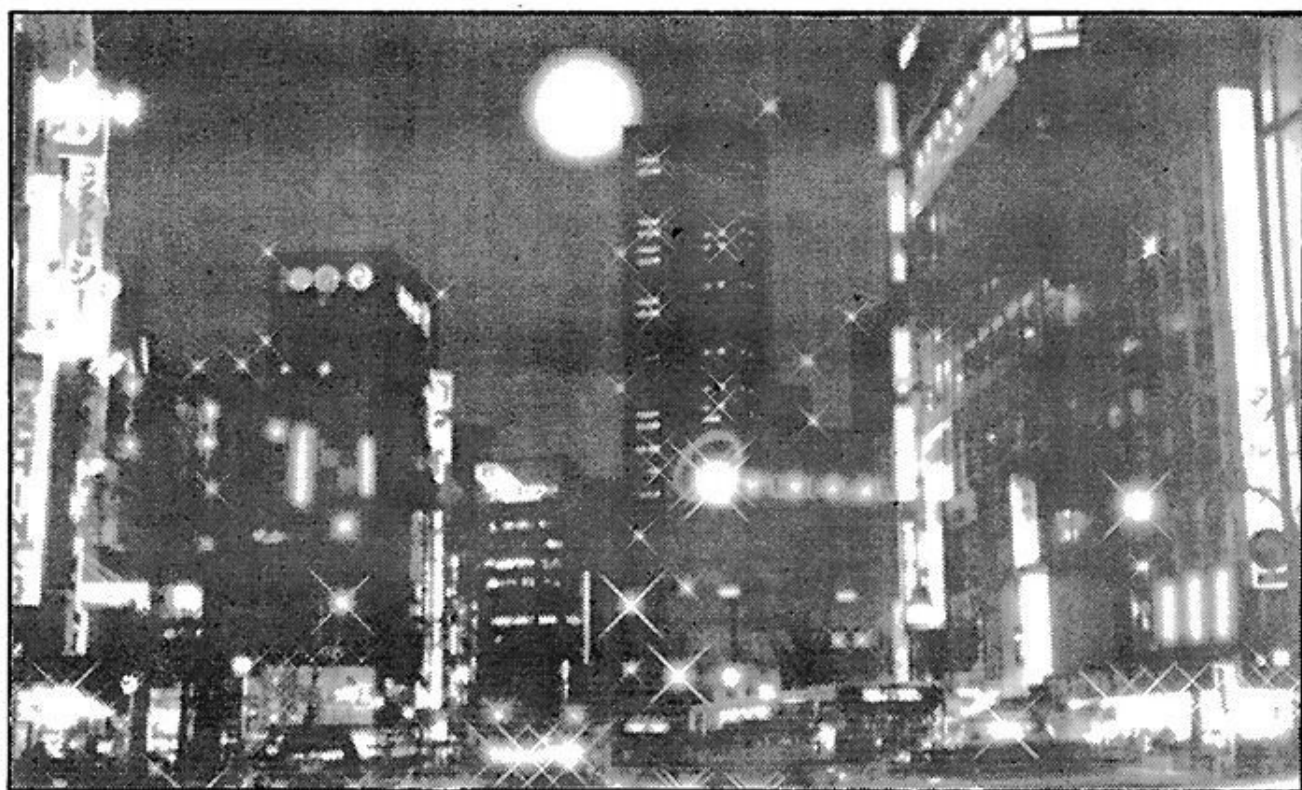
鈴が鳴ってます……

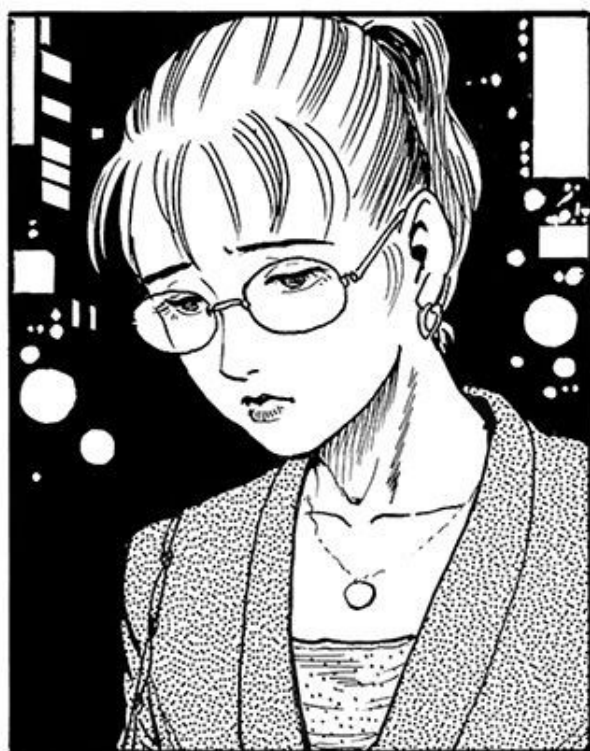
END

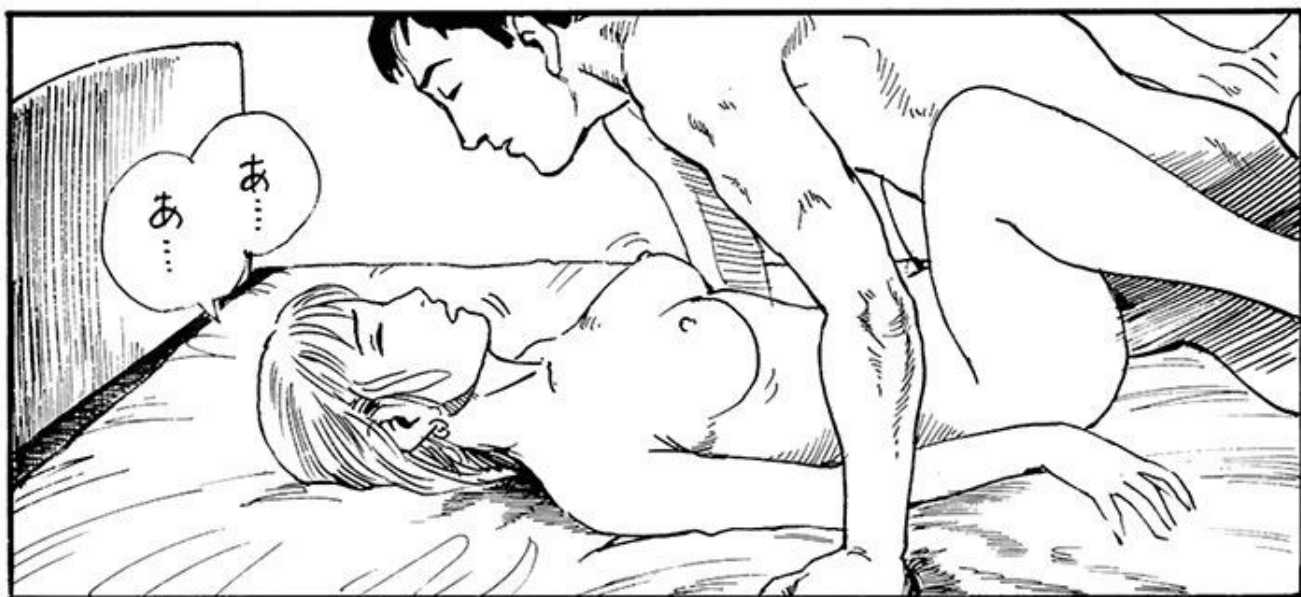
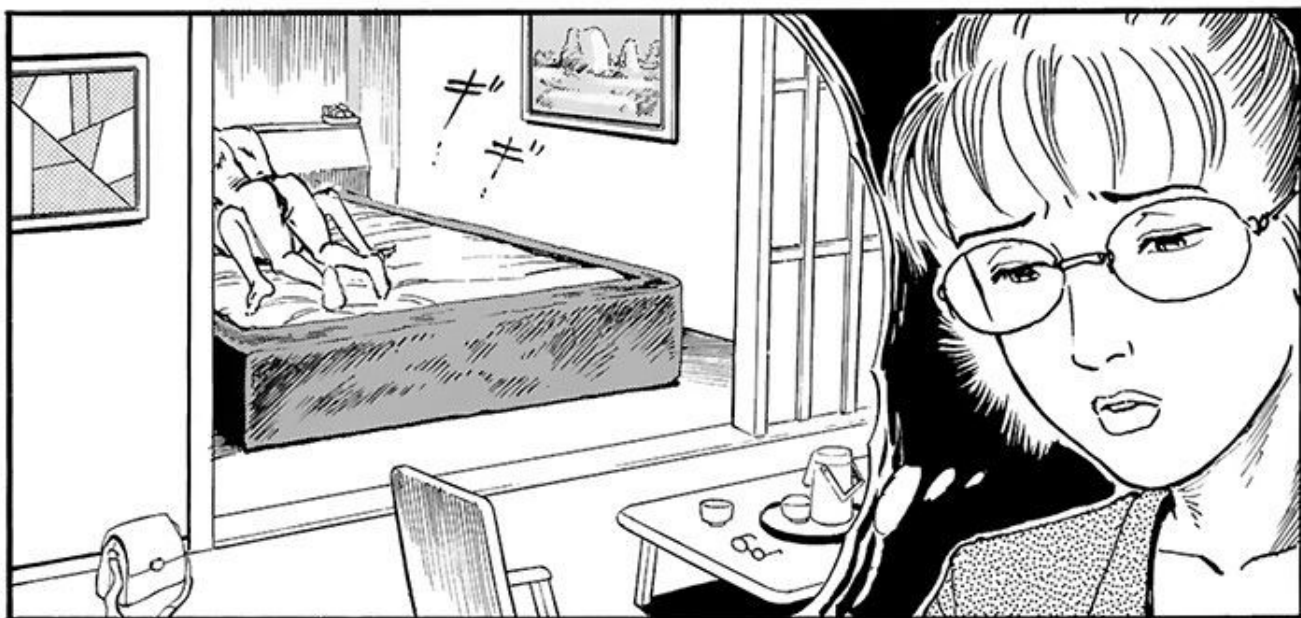
姦じるカラダ

●かんじるからだ●













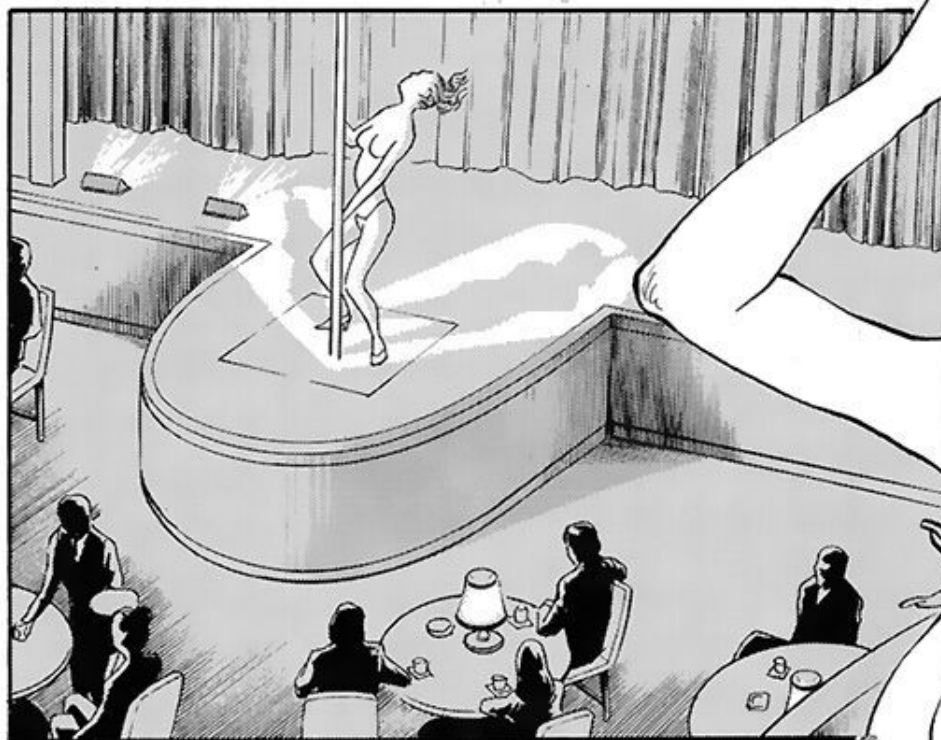








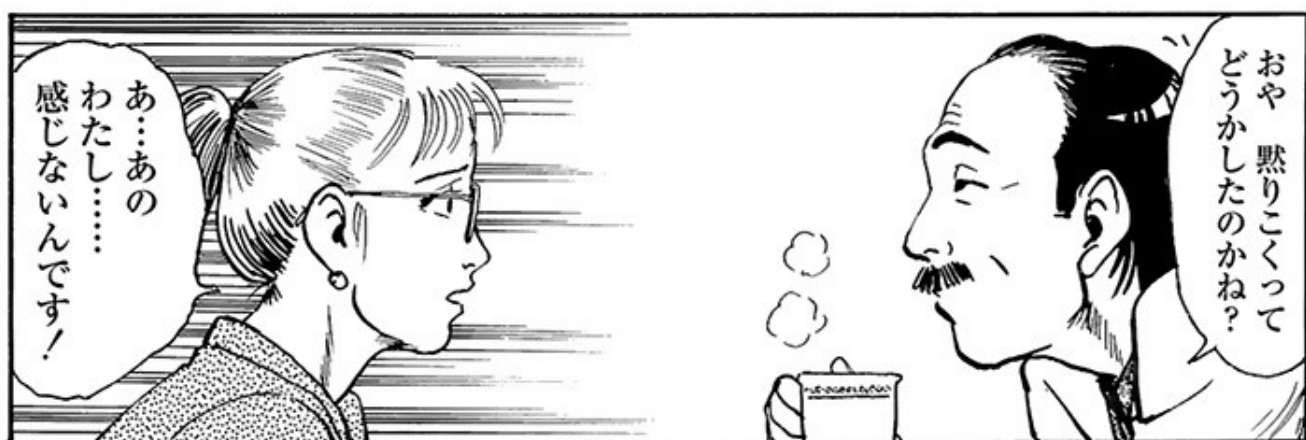






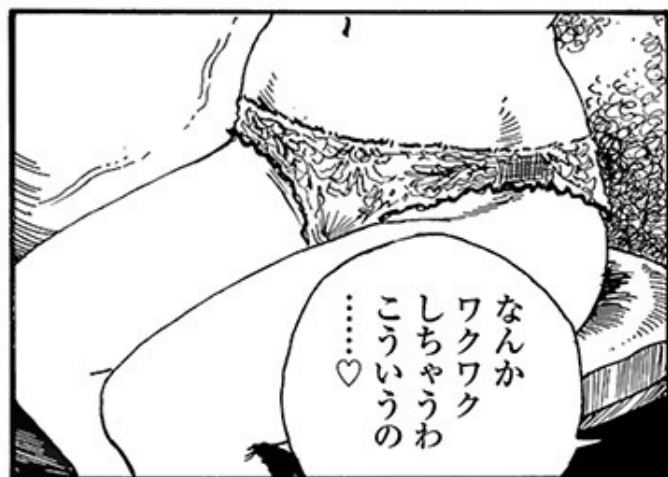
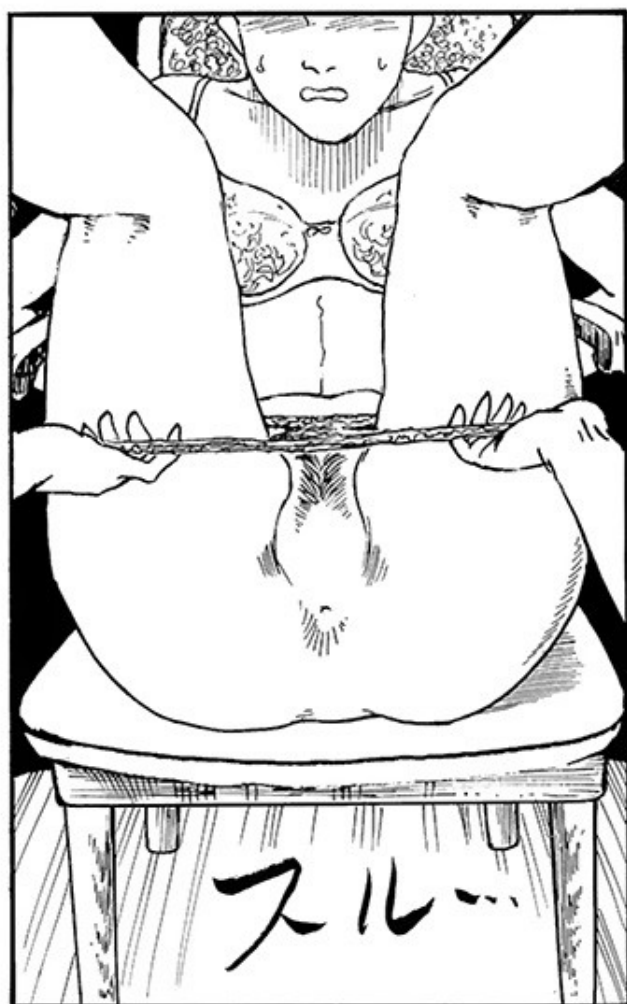


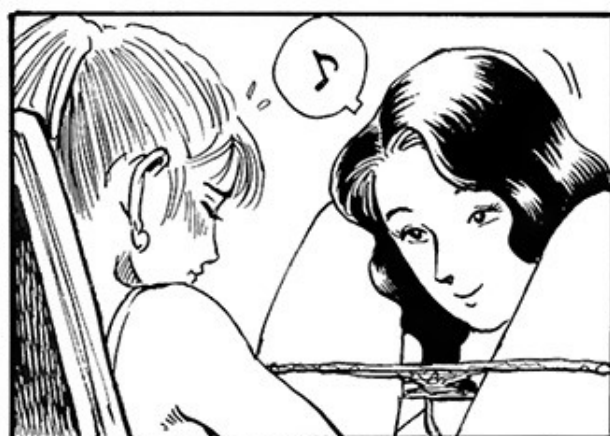






ここ……ここで
ですか!?







繩の魔力ね
……ほ……ら
こんなよ!

あ……
ああ……

シクッ シクッ



あ……あ……!

ほらほら
あんまり
大きな声を出すと
ほかのお客に
迷惑になるよ!

だ……だってえ
んん……あつ!



サイトウ
ヒロシさん
……と
アドレス
拝見……

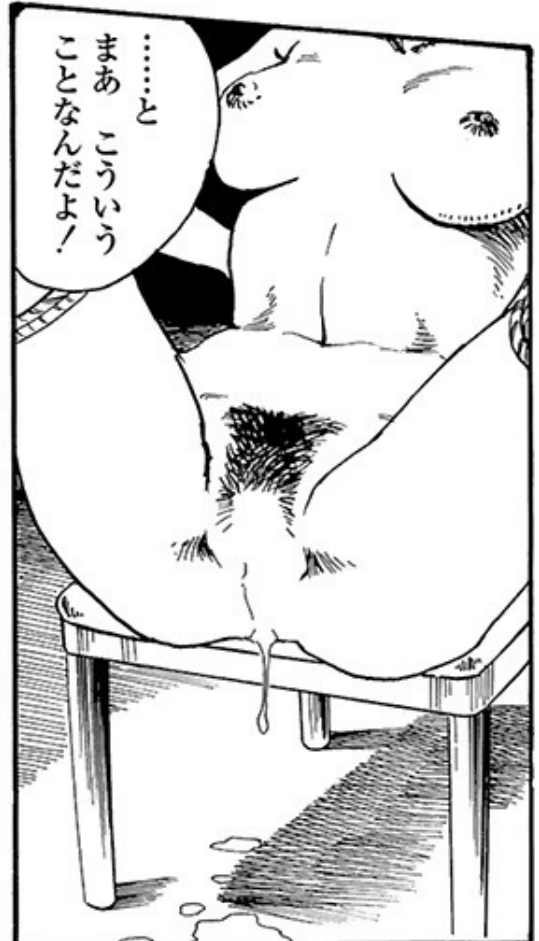


別に繩がなくても
感じるものは
感じるさ……



ところで奥さん
ダンナの名前は
なんていうの?

えっ……?
さ……斉藤……
宏ですけど
……ああつ!







END